

学生の確保の見通し等を記載した書類

(学校法人四徳学園)

目 次

1	学生の確保の見通し及び学校法人四徳学園としての取り組み状況	
(1)	学生確保の見通し	1
ア	入学定員充足の見込み	1
イ	定員充足の根拠となる客観的データの概要	2
ウ	学生納付金の設定の考え方	6
(2)	学生確保に向けた具体的な取組状況	6
2	人材需要の動向等社会の要請	
(1)	人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的	6
(2)	上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたもので あることの客観的な根拠	7

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び学校法人四徳学園としての取り組み状況

(1) 学生確保の見通し

ア 入学定員充足の見込み

長野保健医療大学は、教育理念に基づき、保健学の理論及び応用を教授研究し、多職種が協働した支援サービス提供の実践に求められる幅広い知識と高度な専門技術を有する専門職医療人並びに専門職教育者を育成することにより、人々の健康と福祉の増進に寄与することを目的として大学院（修士課程）の設置を構想した。

本学は、平成 27（2015）年に専門学校を大学化して以来、理学療法学専攻、作業療法学専攻の学生数は入学定員を満たし、国家試験合格率は 94%であり、平成 31（2019）年 3 月に大学 1 期生を卒業させている。平成 31（2019）年 4 月に開設した看護学部でも入学定員を満たす学生を迎え入れ、教育している。

本学の教学上の課題の一つに教員の安定的確保がある。保健科学部の設置申請に際して、文部科学省から教員の高齢化に対する適切な対応の必要性を指摘された。また、看護学部設置に際しては教員の確保に多大な労力を要した。これらのことから、本学の教育・研究環境を整備するためには、理学療法士、作業療法士、看護師の教員資格者を養成することが必要であると考えに至った。また、公益社団法人日本看護協会が、文部科学省に「看護師の教育者・研究者や高度専門職業人の育成等に向けて、大学院修士課程、博士課程の積極的な設置を推進」を要望していることにもあるように（平成 28（2016）年 4 月 18 日付け文部科学省高等教育局長あて「看護職の人材育成に関する要望書」日本看護協会長 坂本すが）、多職種が協働した支援サービス提供の実践に求められる幅広い知識と高度な専門技術を有する専門職医療人の育成も求められている。公益社団法人日本理学療法士協会では、平成 8（1996）年に大学院における修士課程が初めて広島大学医学部保健学科に設置されたことを受けて、平成 9（1997）年 3 月に大学における理学療法学教育と大学院(修士、博士課程)教育の推進について文部大臣に要望している。一般社団法人日本作業療法士協会では、「地域生活移行・地域生活継続支援の推進～作業療法 5・5 計画～」第三次作業療法 5 ヶ年戦略（2018－2022）の「生涯教育制度の運用に関すること」の中で、大学院教育との連携を推進することとしている。このようなことを勘案して大学院（修士課程）の設置を構想するに至った。

本学が大学院保健学研究科保健学専攻を構想するに当たり、過去 10 年間の学校基本調査のデータを用いて求めた長野県北信地方における保健系大学進学希望者の推計値を参考とし、本学の教育体制、施設を勘案して 1 学年の入学定員を 8 名とした。

学校基本調査をもととする全国の大学院の入学志願者数及び入学者数の傾向、同調査をもとに大学院入学定員から推計した入学志願者の状況、本県内の医療従事者に対するアンケート調査結果、本学材学生に対するアンケート調査結果、医療関係施設の管理者

を対象とした採用意向調査結果を総合的に考察すると、本学が構想する大学院の学生を確保ができる見通しであるものと考えた。

イ 定員充足の根拠となる客観的データの概要

1) 入学定員を充足する志願者の推計

入学定員充足の見込みを、以下の資料からデータを求めて検討し、予定する入学定員を充足する実現性が高いとの結論を得た。以下に検討に用いたデータを示す。

① 長野県の行政的・文化的状況

長野県は人口 204 万 9 千人（令和元（2019）年 10 月 1 日現在）、南北約 200 キロメートル東西約 100 キロメートル、総面積は 13,561 平方キロメートルあり北海道、岩手県、福島県に次いで全国第 4 位である。長野市、千曲市、須坂市、中野市、飯山市を中心とした北信地方（人口：61 万 4 千人）、上田市、佐久市を中心とした東信地方（人口：39 万 9,500 人）、松本市、塩尻市、安曇野市、大町市、木曾地域を中心とした中信地方（人口：50 万 5 千人）、諏訪・伊那・飯田市を中心とした南信地方（人口：53 万人）の 4 つの地方に分けられ、それぞれの地方で食べ物、方言など独自の文化を育んできている。

本大学が位置する北信地方は、県庁所在地であり、人口規模も県下で最大である。

② 長野県内の看護師、理学療法士、作業療法士が従事する病院（資料 1）

平成 29（2017）年現在、長野県内の看護師、理学療法士、作業療法士が従事する病院の数は、113 病院（北信地方：35 病院、東信地方：27 病院、中信地方：24 病院、南信地方：27 病院）である。常勤の理学療法士、作業療法士が合計で 5 人以上従事する病院は 84（北信地方：24 病院、東信地方：21 病院、中信地方：21 病院、南信地方：18 病院）である。

北信地方の看護師、理学療法士、作業療法士の勤務する医療機関は県内で最も多い。

③ 長野県の看護師、理学療法士、作業療法士が従事者数

平成 28（2016）年度の長野県における看護師の従事者数は 21,476 人、うち病院に従事する看護師数は 15,027 人（70.0%）である。保健師の従事者数は 1,600 人、うち 239 人が病院、1,150 人が市町村・保健所に従事している。（資料 2）

平成 29（2017）年の病床機能調査における長野県内の病院の常勤看護師数は 12,781 人で、北信地方の病院に 4,032 人、東信地方の病院に 2,595 人、中信地方の病院に 3,197 人、南信地方の病院に 2,957 人が従事している。長野県内の 113 病院のうち病床数 100 床以上の病院は 46（北信地方：13 病院、東信地方：9 病院、中信地方：12 病院、南信地方：12 病院）、100 床以上の病院の常勤看護師数は 10,583 人（北信地方：3,360 人、東信地方：1,890 人、中信地方：2,802 人、南信地方：2,531 人）である。（資料 1）

平成 29（2017）年の長野県内の病院・診療所に従事する理学療法士は 1,652 人、作業療法士は 1,019 人、介護サービス施設に従事する理学療法士は 615 人、作業療法士

は 360 人、理学療法士合計 2,267 人、作業療法士合計 1,379 人である。(資料 3)

平成 29 (2017) 年の病床機能調査における長野県内の理学療法士、作業療法士を合わせた病院従事者数は。北信地方 572 人、東信地方 562 人、中信地方 603 人、南信地方 604 人である。(資料 1)

北信地方の病院に従事する看護師は他の県内 3 地方よりも多い。北信地方の病院に従事する理学療法士、作業療法士数は、他の県内 3 地方並みである。

④ 長野県内の看護師、理学療法士、作業療法士の養成大学、大学院の現況 (資料 4)

長野県内の看護系大学の 1 年生の入学定員の合計は 396 人である。北信地方に本学 (1 学年入学定員 : 80 人) と清泉女学院大学 (1 学年入学定員 : 76 人)、東信地方に佐久大学 (1 学年入学定員 : 90 人)、中信地方に信州大学 (1 学年入学定員 : 70 人)、南信地方に長野県看護大学 (1 学年入学定員 : 80 人) がある。

看護学に関係する大学院は、東信地方に佐久大学 (1 学年入学定員 : 10 人)、中信地方に信州大学 (看護学、検査技術科学、理学・作業療法学を含む 14 人)、南信地方に長野県看護大学 (1 学年入学定 : 16 人) があり、北信地方にはない。北信地方の看護職で大学院への進学希望者は、東信地方の佐久大学、中信地方の信州大学、南信地方の長野県看護大学、隣接県の新潟県上越市の新潟県立看護大学に進学している。

長野県内で理学療法士と作業療法士を養成する大学は、本学保健科学部 (1 学年入学定員 : 理学療法学 40 人、作業療法学 40 人、計 80 人) と信州大学医学部保健学科 (1 学年入学定員 : 理学療法学 18 人、作業療法学 18 人、合計 36 人) である。1 学年の入学定員は、合わせて理学療法学が 58 人、作業療法学が 58 人である。

リハビリテーションに関係する大学院は、中信地方の信州大学 (看護学、検査技術学、理学・作業療法学を含め 1 学年入学定員 14 人) に設置されているのみである。

⑤ 大学卒業生の進学状況 (進学率) (資料 5、資料 6)

過去 10 年間 (平成 22 年 3 月から平成 31 年 3 月) の大学卒業生の年平均は、560,646 人、そのうち進学者の年平均が 64,316 人、年平均進学率が 11.5%、同時期の看護系大学の卒業生は年平均 14,712 人、進学者の年平均が 504 人、年平均進学率が 3.4%、保健・その他 (理学・作業療法学を含む) 大学の卒業生は年平均 18,062 人、進学者の年平均が 1,029 人、年平均進学率 5.7%であった。(資料 5)

長野県の大学卒業生は 10 年平均で 3,151 人、そのうち進学者の年平均が 721 人、年平均進学率が 22.9%で、全国の約 2 倍の進学率を示している。(資料 6)

⑥ 大学院入学状況 (志願者倍率) (資料 7)

過去 10 年間の全国大学院の入学志願者は、年平均 116,681 人、入学者は年平均 74,734 人、志願倍率は年平均 1.56 倍で、医学・歯学・薬学を除いた保健系大学院の入学志願者は年平均で 4,767 人、入学者は年平均 3,354 人、志願者倍率は年平均 1.42 倍である。私立大学大学院における入学志願者は 1,932 人、入学者 1,374 人、志願者倍率は 1.41 倍である。

⑦ 専攻分野別大学院志願者、入学者に当該大学卒業生が占める割合 (当該大学比) (資料 8)

全国大学院における入学志願者数と入学者数、それぞれに当該大学卒業生が占める割合（当該大学比）をみると、過去 10 年間の年平均入学志願者は 116,681 人、うち当該大学卒業生が年平均 66,513 人（志願者当該大学比：57.0%）、年平均入学者が 74,734 人、うち当該大学卒業生が 52,259 人（入学者当該大学比：69.9%）である。

全国の保健系大学院における過去 10 年間の平均入学志願者 7,183 名、当該大学卒業生 3,066 名（志願者当該大学比：42.7%）、平均入学者数 5,197 名、当該大学卒業生 2,550 名（入学者当該大学比：49.1%）である。

全国の私立大学の保健系大学院における過去 10 年間の年平均入学志願者は 2,525 人、うち当該大学卒業生が年平均 1,123 人（志願者当該大学比：44.5%）、年平均入学者は 1,863 人うち当該大学卒業生が年平均 916 人（入学者当該大学比：49.2%）である。

⑧ 専攻分野別大学院学生数、社会人構成比（社会人比）（資料 9）

過去 10 年間の修士課程専攻分野別大学院学生数は、年平均 164,517 人で、うち社会人が占める割合は年平均で 11.9%、保健・その他学院（医学、歯学、薬学を除いた保健系大学院）の学生数は年平均 7,557 人、社会人が占める割合は年平均 57.1%である。

⑨ 長野県内保健系大学院（修士課程）の入学状況（大学院充足率）（資料 10）

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（看護学分野、検査技術学分野、理学・作業療法学分野）では入学定員 14 人に対して 18 人（入学定員充足率 129%）、佐久大学大学院看護学専攻では、入学定員 10 人に対して 7 人（入学定員充足率 70%）、長野県看護大学大学院看護学研究科看護学専攻では、入学定員 16 人に対して 5 人（入学定員充足率 31%）であった。佐久大学大学院と長野県看護大学大学院では、過去 4 年間入学定員充足率が 30～90%で推移している。

長野県内の看護系大学院の入学定員充足率は、数年来 100%に達していないが、看護学、理学療法学・作業療法学分野を含む保健学大学院の入学定員充足率は 100%を超えている。本学が構想する大学院も看護学、理学療法学・作業療法学の複数分野を構成することから、入学定員充足の見込みは、看護学単科の大学院よりも高いと考える。

⑩ 本学入学者の推移（本学入学）（資料 11）

平成 27（2015）年に大学化して以降の保健科学部の入学定員充足率は、108.9%～119.2%である。大学 1 期卒業生は理学療法学専攻が 44 人、作業療法学専攻が 40 人であった。平成 31（2019）年 4 月に開設した看護学部においても入学定員充足率は 106.3%であった。

⑪ 大学卒業生の大学院志願者の推計（資料 12）

上記⑤から⑩の結果を資料 12 にまとめた。各推計に用いた計算式を以下に示す。

◆過去 10 年の大学卒業生の大学院進学率

大学 11.5%、 県内大学 22.9%、看護大学 3.4%、
その他保健学（理学療法・作業療法学を含む） 5.7%

◆長野県内大学入学定員

看護大学：396名、理学療法学・作業療法学：116名

◆ 本学1学年入学定員

看護学部：80名、理学療法学専攻：40名、作業療法学専攻：40名

◆ 県内大学卒業者の進学推計

[保健系大学院入学定員] × [過去10年間の平均進学率]

看護学部進学者数 $396 \times 0.034 = 13.5$

理学療法学・作業療法学 $116 \times 0.057 = 6.6$

本学看護学部進学者数 $80 \times 0.034 = 2.7$

本学理学・作業療法学専攻進学者 $80 \times 0.057 = 4.6$

本学大学院保健学専攻進学者 $2.7 + 4.6 = 7.3$

◆ 本学大学院進学者推計

[本学卒業生進学者推計]/[入学者当該大学比：49.2%]

$7.3 / 0.492 = 14.8$

◆ 本学大学院志願者推計 大学卒業者の進学者推計を大学院志願者とみなして計算

[本学大学院進学者推計]/[志願者当該大学比：44.5%]

$7.3 / 0.445 = 16.4$

以上の過去10年間のデータを元にした推計から、本学大学院保健学専攻の入学定員8名は充足に見込みが高いと判断した。本学大学院が設置されれば、北信地方で大学院進学を目指す者の選択肢が広がり、医療系の看護学、理学療法学、作業療法学を専攻した者の進学意欲に応えるだけの受け皿となるため、定員を確保することができるものと考えられる。

2) 大学院設置及び入学意向アンケート調査結果（資料13）

本研究科への進学希望者の実態把握と卒業後の継続教育の機会を提供する際の方策を検討するため、令和元年12月に「長野保健医療大 大学院設置に関するアンケート調査」を本学の地域保健医療研究センターにおいて実施した。

社会人としての入学を想定し、県内の医療機関及び介護保険施設等に従事する保健師、助産師、看護師、理学療法士及び作業療法士等の医療従事者を対象としたアンケート調査（n=3,846）を行うとともに、学部からの入学を想定し、本学の保健科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻、作業療法学専攻及び看護学部看護学科に在学する学生を対象としてアンケート調査（n=421）を行った。

医療従事者を対象とした個人へのアンケート調査によると、「本学が計画中の大学院に進学したい」と回答した者が25人、「本学が計画中の大学院への進学を優先するが、他大学院への進学も検討する」と回答した者が32人であり、両回答を合計すると57人となり入学定員の8人を上回っている。両回答の内容を現在従事している職種別で見ると、看護師が25人、理学療法士が19人、作業療法士が9人、保健師が2人、助産師が2人となっている。また、両回答の内容を修士課程への進学時期別にみると、「1～2

年」が17人、「3～5年以内」が20人、「10年以内」が9人、「分からない」が11人となっており、大学院開設当初における進学希望者が入学定員を上回っている。

在学生を対象としたアンケート調査によると、構想大学院に「進学したい」と回答した者が5人、「進学に関心がある」と回答した者が20人、「条件が合えば進学したい」と回答した者が36人、3つの回答を合計すると61人であった。3つの回答の内容を大学院開設年度に進学することとなる保健科学部リハビリテーション学科の3年生についてみると、17人となっている。

ウ 学生納付金の設定の考え方（資料14）

学生納付金を設定するに当たっては、大学院の教育の質を確保し、良好な物的・人的教育研究活動を維持する必要があるため、安定的な財政基盤が確保でき、大学院の収支バランスを図ることが前提となる。本学と同系の理学療法学、作業療法学及び看護学を基盤とした大学院の数はそれほど多くないものの、長野県内及び近隣県に所在する大学院の学生納付金を参考に、本学全体の収支や地域性、学部とのバランス等を考慮して設定した。

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

本計画は、大学院の設置であることから、本学ホームページでの内容の紹介をはじめとして、在学生への周知、リハビリテーション学科及び看護学科の実習施設として協力を得ている医療機関や介護保険施設等にも周知する計画である。また、前身である専門学校卒業生も含めて、ほぼ9割の卒業生が理学療法士又は作業療法士として県内の医療機関等に就職していることから、あらゆる機会をとらえて卒業生への広報活動を行うことにより学生を確保する計画である。

在学生については、将来教育者・研究者を希望する者を中心に、卒業研究指導等を通じて本学教員の研究分野への興味を喚起するような取り組みを行う。

医療機関等では、将来の技師長、師長、部長などの管理職を目指す者に対して、大学院においてより高い管理能力を学修する意義について、実習指導者会議などの機会をとらえて広報活動を展開する。

長野県看護協会、長野県理学療法士会、長野県作業療法士会を通じて、本大学院の教育内容等についてPR活動を行う計画である。

2 人材需要の動向等社会の要請

（1）人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的

我が国は、総人口が長期の人口減少過程に入り、高齢者人口が減少に転じても高齢化率が上昇を続ける超高齢社会となり、国の経済の衰退、活力の低下、生活基盤である社会システムの脆弱化が危惧されている。医療サービスにおいても、疾病構造の変化、医療に対する認識や期待の変化、医師の偏在、医療制度の持続可能性に関する不信感、地域によ

る医療サービス格差など多くの課題に直面している。

2010（平成 22）年厚生労働省は、チーム医療の推進に関する検討会報告書「チーム医療の推進について」において、「チーム医療」を我が国の医療の在り方を変えるキーワードとして注目し、チーム医療の推進には、①各医療スタッフの専門性の向上、②各医療スタッフの役割拡大、③医療スタッフ間の連携・補完を進める必要があるとしている。臨床現場においては、より専門で高度な知識・技術が求められ、また生活習慣、健康、貧困などの問題の予防・改善等に対しても保健医療に関する知識・技術を有する保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士等の専門職医療人の役割に対する期待が増している。

本研究科では保健学における学術の理論及び応用を教授研究し、多職種が協働した支援サービス提供の実践に求められる幅広い知識及び高度な専門技術を有する専門職医療人並びに専門職教育者の養成を目的としている。

（2）上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

医療機関の施設管理者を対象としたアンケート調査結果（資料 15）

① 修了生の採用等に係るアンケート調査報告（採用意向調査）

地域保健医療研究センターが実施したアンケート調査報告によると、構想大学院の設置について「有益である」と回答した施設の割合は、92.3%であり、地域の医療施設の期待が大きいことが分かる。

回答があった病院等で大学院への進学希望者の存在を把握している施設が 35.9%であり、大学院進学についての関心がある施設があることが分かる。また、所属する専門職者が希望する場合に、現職のまま大学院の進学を勧めるとした割合が 30.8%となっていたことから、社会人の学修環境を支援する取り組みが始まっていることを示している。

構想大学院の修了生の採用意向については、「採用したい」及び「採用を検討したい」という回答が 22 施設（56.4%）あり、採用予定人数の記載があった施設の人数については「採用したい」で 15 人、「採用を検討したい」で 18 人であり、合わせて構想大学院の修了生を採用予定人数については、多くの医療機関で待ち望んでいる状況にある。

② 長野県内の医療人材の状況

長野県内の年齢別看護職数を平成 30 年衛生行政報告例でみると、40～44 歳の層が最も多く、全国平均を上回っている。（資料 16）多くが勤務する病院等において管理職候補となる年代層が厚いことは、より専門的で高度な知識と技術が求められることとなる。

また、令和元年の長野県理学療法士会の会員数をみると、人口 10 万人対会員数では全国 23 位と中位に位置する。これを年齢別にみると、40 歳以下が圧倒的に多く 1,865 人（77.7%）で 4 分の 3 以上を占めている。（資料 17）

作業療法士についても同様にみると、人口 10 万人対会員数では全国 14 位に位置し

ている。これを年齢別にみると、40歳以下が圧倒的に多く、1,051人（77.1%）で、やはり4分の3以上を占めている。（資料18）

本学の前身である長野医療技術専門学校が、介護保険制度創設当初から理学療法士・作業療法士の養成を始め、卒業生が県内の臨床現場で従事していることが大きな要因であり、この年齢層が今後、指導的な立場、管理的な立場となるために、より専門的で高度な知識と技術が求められることとなる。

公益社団法人長野県看護協会、長野県理学療法士会、長野県作業療法士会からも本学の大学院設置に関する要望書が提出され、医療現場からも大学院教育に対する期待が大きいことが分かる。（前掲資料）

③ 社会人教育の状況

中央教育審議会では、「今後の大学院は、社会人教育を対象とした多様な制度を活用し、大学院教育へのアクセスの拡大を一層推進していくことが重要である。」としている。学校基本調査による進学・入学動向、地域保健医療研究センターで今回実施したアンケート調査の結果に基づき、構想する大学院に入学する学生は、本学の前身である長野医療技術専門学校の卒業生、他の専修学校卒業生及び本学の各学部を卒業した後、臨床現場において一定の実務経験を積んだ看護職や理学療法士、作業療法士であるところを想定しており、大学院教育へのアクセスの拡大に寄与できるものとする。

保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士等の専門職業人が、修士課程の設置により多職種との連携や高度専門職としてそれぞれの職種の学修を深化させる機会を拡大できることは、臨床現場における課題を解決する上で極めて有効であるとする。また、研究をさらに深めた者が大学教員や研究者となり後進の育成に尽力することも期待される。大学院修士課程の設置は、臨床現場における専門職だけでなく大学院の双方にとって有益であることが期待され、地域及び社会的人材需要に大きく貢献するものとする。

学生の確保の見通し等を記載した書類

< 資 料 目 次 >

- 資料 1 長野県内の病院
- 資料 2 長野県内看護職員の就業状況
- 資料 3 長野県内理学療法士・作業療法士の従事者数
- 資料 4 長野県内における大学・大学院の入学定員
- 資料 5 大学関係学科別状況別卒業生数
- 資料 6 大学都道府県別状況別卒業生数
- 資料 7 大学院入学者数
- 資料 8 専攻分野別出身大学の設置者別大学院入学数
- 資料 9 専攻分野別大学院学生数
- 資料 10 長野県内保健系大学院（修士課程）の入学状況
- 資料 11 長野保健医療大学入学者の推移
- 資料 12 保健系私立大学院の入学志願者推計
- 資料 13 長野保健医療大学大学院保健学研究科保健学専攻（修士課程）（仮称）の設置及び入学意向等に関するアンケート調査報告（医療従事者）
- 資料 14 近隣の保健医療系大学院の授業料等の状況
- 資料 15 長野保健医療大学大学院保健学研究科保健学専攻（修士課程）（仮称）の設置及び修了生の採用意向等に関するアンケート調査報告（施設管理者）
- 資料 16 年齢階層別看護職数
- 資料 17 理学療法士会都道府県別会員数
- 資料 18 作業療法士会都道府県別会員数

長野県内の病院

圏域	二次医療圏	許可一般病床数	病院数	常勤看護師 施設数		常勤PT・OT 施設数		常勤看護師 総数	常勤 PT・OT 総数
				50人未満	50人以上	5人未満	5人以上		
北信	長野	100床以上	11	0	11	0	11	2,803	318
		100床未満	21	18	3	11	10	649	173
		計	32	18	14	11	21	3,452	491
	北信	100床以上	2	0	2	0	2	557	75
		100床未満	1	1	0	0	1	23	6
計	3	1	2	0	3	580	81		
東信	佐久	100床以上	5	1	4	0	5	1,293	153
		100床未満	9	5	4	1	8	431	103
		計	14	6	8	1	13	1,724	256
	上小	100床以上	4	0	4	0	4	597	234
		100床未満	9	7	2	5	4	274	72
計	13	7	6	5	8	871	306		
中信	木曾	100床以上	1	0	1	0	1	126	17
		100床未満	0	0	0	0	0	0	0
		計	1	0	1	0	1	126	17
	松本	100床以上	9	0	9	0	9	2,316	363
		100床未満	12	10	2	3	9	395	161
		計	21	10	11	3	18	2,711	524
	大北	100床以上	2	0	2	0	2	360	62
		100床未満	0	0	0	0	0	0	0
計		2	0	2	0	2	360	62	
南信	諏訪	100床以上	6	1	5	0	6	1,237	190
		100床未満	4	4	0	3	1	73	42
		計	10	5	5	3	7	1,310	232
	上伊那	100床以上	3	0	3	0	3	656	98
		100床未満	4	3	1	3	1	91	42
		計	7	3	4	3	4	747	140
	飯伊	100床以上	3	0	3	0	3	638	133
		100床未満	7	4	3	3	4	262	99
計		10	4	6	3	7	900	232	
計	100床以上	46	2	44	0	46	10,583	1,643	
	100床未満	67	52	15	29	38	2,198	698	
	計	113	54	59	29	84	12,781	2,341	
北信 計	100床以上	13	0	13	0	13	3,360	393	
	100床未満	22	19	3	11	11	672	179	
	計	35	19	16	11	24	4,032	572	
東信 計	100床以上	9	1	8	0	9	1,890	387	
	100床未満	18	12	6	6	12	705	175	
	計	27	13	14	6	21	2,595	562	
中信 計	100床以上	12	0	12	0	12	2,802	442	
	100床未満	12	10	2	3	9	395	161	
	計	24	10	14	3	21	3,197	603	
南信 計	100床以上	12	1	11	0	12	2,531	421	
	100床未満	15	11	4	9	6	426	183	
	計	27	12	15	9	18	2,957	604	

出典：平成29年病床機能調査

長野県内看護職員の就業状況（平成28年）

場所 職種		病院	診療所	助産所	訪問看護 ステーション	介護保 険施設	社会福 祉施設	保健所 市町村	その他	合計
実 数	保健師	239	34	0	4	9	4	1,150	160	1,600
	助産師	579	136	56	0	0	6	24	38	839
	看護師	15,027	2,310	0	733	2,290	379	197	540	21,476
	准看護師	1,878	1,405	1	34	1,462	217	21	85	5,103
	合計	17,723	3,885	57	771	3,761	606	1,392	823	29,018
構 成 比	保健師	14.9%	2.1%	0.0%	0.3%	0.6%	0.3%	71.9%	10.0%	100.0%
	助産師	69.0%	16.2%	6.7%	0.0%	0.0%	0.7%	2.9%	4.5%	100.0%
	看護師	70.0%	10.8%	0.0%	3.4%	10.7%	1.8%	0.9%	2.5%	100.0%
	准看護師	36.8%	27.5%	0.0%	0.7%	28.6%	4.3%	0.4%	1.7%	100.0%
	合計	61.1%	13.4%	0.2%	2.7%	13.0%	2.1%	4.8%	2.8%	100.0%

出典：厚生労働省「平成28年度衛生行政報告例」

長野県内理学療法士、作業療法士の状況

1 病院・診療所における理学療法士、作業療法士の従事者の推移

区分	理学療法士				作業療法士			
	長野県		全国		長野県		全国	
	従事者数 〔常勤換算〕 (人)	人口 10万対	従事者数 〔常勤換算〕 (人)	人口 10万対	従事者数 〔常勤換算〕 (人)	人口 10万対	従事者数 〔常勤換算〕 (人)	人口 10万対
平成23年	1,132	52.8	61,621	48.2	757	35.3	35,427	27.7
平成26年	1,450	68.8	77,138	60.7	912	43.2	42,136	33.2
平成29年	1,652	79.6	91,695	72.4	1,019	49.1	47,852	37.8

出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」及び「政府統計人口推計(各年10月1日現在)」
病院、一般診療所、歯科診療所

2 介護サービス施設における理学療法士、作業療法士の従事者の推移

区分	理学療法士				作業療法士			
	長野県		全国		長野県		全国	
	従事者数 〔常勤換算〕 (人)	人口 10万対	従事者数 〔常勤換算〕 (人)	人口 10万対	従事者数 〔常勤換算〕 (人)	人口 10万対	従事者数 〔常勤換算〕 (人)	人口 10万対
平成23年	344	16.1	19,562	15.3	285	13.3	12,367	9.7
平成26年	463	22.0	26,196	20.6	304	14.4	14,474	11.4
平成29年	615	29.6	36,740	29.0	360	17.3	19,317	15.2

出典：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」及び「政府統計人口推計(各年10月1日現在)」
介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、居宅サービス、地域密着型サービス

長野県内における大学・大学院の入学定員

区 分		北信地方	東信地方	中信地方	南信地方	計
人口		613,992	399,542	505,428	530,061	2,049,653
保健系 大学	大学数	2	1	1	1	5
	入学定員	236	90	106	80	512
	うち看護	156	90	70	80	396
	うちPTOT	80		36		116
保健系 大学院	大学院数	0	1	1	1	3
	入学定員	0	10	14	16	40
	大学院名	—	佐久大学大学院	信州大学大学院	長野県看護大学大学院	
	研究科等	—	看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)	医学系研究科 (修士課程) 保健学専攻 (看護学) (検査技術) (理学・作業)	看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程 (修士課程)	
構想含む保 健系大学院	大学院予定数	2	1	1	1	5
	入学予定定員	16	10	14	16	56
大学設置者		私立	私立	国立	公立	

※人口出典:長野県毎月人口異動調査「令和元年 長野県の人口(令和元年10月1日現在)」

県計人口と市町村人口との推計方法が異なるため、市計と郡計を合算しても県計とは一致しない。

大学関係学科別状況別卒業生数

区分	卒業生	進学者	就職者		臨床研修 医(予定 者を含 む)	専修学 校・外国 の学校等 入学者	一時的な 仕事に就 いた者	左記以外 の者	死亡・不 詳の者	左記「進学者」のうち 就職している者(再 掲)		進学率
			正規の職 員等	正規の職 員等でない 者						正規の 職員等	正規の 職員等 でない者	
H22.3	541,428	72,539	329,132		8,944	13,500	19,332	87,174	10,807	58		13.4%
H23.3	552,358	70,465	340,143		8,923	12,192	19,107	88,007	13,521	74		12.8%
H24.3	558,692	65,683	335,048	21,963	8,893	11,173	19,569	86,566	9,797	47	30	11.8%
H25.3	558,853	63,334	353,125	22,734	8,984	9,488	16,736	75,929	8,523	50	48	11.3%
H26.3	565,573	63,027	372,509	22,259	8,899	8,360	14,519	68,484	7,516	60	17	11.1%
H27.3	564,035	62,238	388,578	21,132	9,056	6,720	11,730	58,102	6,479	33	16	11.0%
H28.3	559,678	61,521	398,979	19,116	9,418	6,042	10,184	48,866	5,552	46	22	11.0%
H29.3	567,763	62,331	413,915	18,348	9,313	5,403	9,183	44,182	5,088	56	14	11.0%
H30.3	565,436	61,655	419,037	17,060	9,603	5,175	8,684	39,854	4,368	51	8	10.9%
H31.3	572,639	60,363	430,897	15,897	9,851	4,992	8,165	38,232	4,242	60	28	10.5%
10年平均	560,646	64,316	378,136	19,814	9,188	8,305	13,721	63,540	7,589	54	23	11.5%
H20.3保健	40,525	4,283	23,524		8,851	369	158	3,012	328	40		10.6%
H21.3保健	43,544	4,380	25,778		9,051	296	216	3,513	310	30		10.1%
H22.3保健	38,533	2,515	22,635		8,944	339	249	3,518	333	27		6.5%
H23.3保健	38,282	2,500	23,286		8,923	321	229	2,875	148	58		6.5%
H24.3保健	47,472	2,774	31,568	712	8,893	309	240	2,843	133	32	8	5.8%
H25.3保健	50,738	2,626	33,744	732	8,984	349	253	3,942	108	39	33	5.2%
H26.3保健	53,165	2,678	35,486	827	8,899	322	266	4,586	101	42	4	5.0%
H27.3保健	54,934	2,783	36,522	958	9,056	278	275	4,968	94	21	9	5.1%
H28.3保健	57,119	2,910	38,609	856	9,418	356	291	4,565	114	27	7	5.1%
H29.3保健	59,135	2,986	40,685	960	9,313	381	230	4,441	139	45	11	5.0%
H30.3保健	61,662	2,964	42,764	950	9,603	376	244	4,624	137	32	5	4.8%
H31.3保健	64,137	3,078	44,785	975	9,851	389	262	4,679	118	35	17	4.8%
10年平均	52,518	2,781	35,008	871	9,188	342	254	4,104	143	36	12	5.3%
H22.3保健 看護学	10,338	355	9,619		—	66	25	259	14	1		3.4%
H23.3保健 看護学	11,435	404	10,703		—	71	31	219	7	5		3.5%
H24.3保健 看護学	12,166	500	11,073	135	—	63	54	339	2	5	2	4.1%
H25.3保健 看護学	13,120	425	12,011	134	—	87	59	403	1	5	—	3.2%
H26.3保健 看護学	14,678	499	13,512	168	—	58	67	366	8	13	—	3.4%
H27.3保健 看護学	15,059	507	13,865	178	—	56	59	387	7	—	—	3.4%
H28.3保健 看護学	15,993	540	14,783	164	—	98	50	346	12	1	—	3.4%
H29.3保健 看護学	16,900	567	15,484	195	—	130	55	455	14	1	4	3.4%
H30.3保健 看護学	18,331	602	17,023	187	—	124	46	336	13	1	—	3.3%
H31.3保健 看護学	19,096	637	17,610	203	—	96	57	474	19	1	11	3.3%
10年平均 保健・看護学	14,712	504	13,568	171	0	85	50	358	10	3	2	3.4%
H22.3保健 その他	14,371	1,033	11,567		—	209	207	1,198	157	26		7.2%
H23.3保健 その他	15,428	1,014	12,440		—	244	188	1,471	71	53		6.6%
H24.3保健 その他	15,565	966	12,409	512	—	207	165	1,267	39	25	5	6.2%
H25.3保健 その他	16,234	955	12,904	496	—	203	161	1,477	38	28	8	5.9%
H26.3保健 その他	17,593	917	14,284	592	—	189	164	1,395	52	27	4	5.2%
H27.3保健 その他	18,650	1,014	15,141	691	—	146	196	1,425	37	16	8	5.4%
H28.3保健 その他	19,382	1,049	15,723	584	—	197	214	1,572	43	14	7	5.4%
H29.3保健 その他	20,395	1,131	17,112	648	—	139	160	1,164	41	26	7	5.5%
H30.3保健 その他	21,109	1,083	17,355	670	—	168	192	1,610	31	23	4	5.1%
H31.3保健 その他	21,896	1,131	18,113	667	—	146	191	1,609	39	26	6	5.2%
10年平均 保健・その他	18,062	1,029	14,705	608	0	185	184	1,419	55	26	6	5.7%

※保健・その他には、理学療法学、作業療法学、栄養学等が含まれる

出典：学校基本調査「関係学科別状況別卒業生数」(R02.1.7アクセス資料、以下同じ)

e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=normal&toukei=00400001&tstat=000001011528&survey=学校基本調査

大学 都道府県別 状況別 卒業者数

区分	計	進学者	進学率	就職者		臨床研修 医(予定者 を含む)	専修学校 等入学者 外国の学 校	一時的な 仕事に就 いた者	左記以外 の者	不詳・死 亡の者	左記「進学者」の うち就職している者 (再掲)		進学 率順 位	
				正規の職 員等	正規の職 員等でない 者						正規の 職員等	正規の 職員等 でない 者		
全国	H22年	541,428	72,539	13.4%	329,132	8,944	13,500	19,332	87,174	10,807	58			
	H23年	552,358	70,465	12.8%	340,143	8,923	12,192	19,107	88,007	13,521	74			
	H24年	558,692	65,683	11.8%	335,048	21,963	8,893	11,173	19,569	86,566	9,797	47	30	
	H25年	558,853	63,334	11.3%	353,125	22,734	8,984	9,488	16,736	75,929	8,523	50	48	
	H26年	565,573	63,027	11.1%	372,509	22,259	8,899	8,360	14,519	68,484	7,516	60	17	
	H27年	564,035	62,238	11.0%	388,578	21,132	9,056	6,720	11,730	58,102	6,479	33	16	
	H28年	559,678	61,521	11.0%	398,979	19,116	9,418	6,042	10,184	48,866	5,552	46	22	
	H29年	567,763	62,331	11.0%	413,915	18,348	9,313	5,403	9,183	44,182	5,088	56	14	
	H30年	565,436	61,655	10.9%	419,037	17,060	9,603	5,175	8,684	39,854	4,368	51	8	
	H31年	572,639	60,363	10.5%	430,897	15,897	9,851	4,992	8,165	38,232	4,242	60	28	
	10年平均	560,646	64,316	11.5%	378,136	17,638	9,971	9,579	27,395	48,454	5,170			
長野県	H22年	3,058	762	24.9%	1,793	117	51	70	251	14	0			4
	H23年	3,151	773	24.5%	1,870	129	27	50	302	0	0			2
	H24年	3,246	779	24.0%	1,774	140	131	18	23	365	16	1	0	2
	H25年	3,160	729	23.1%	1,783	174	101	14	12	347	0	1	0	2
	H26年	3,154	663	21.0%	1,897	138	97	20	23	316	0	4	0	4
	H27年	3,099	651	21.0%	1,870	135	109	17	19	291	7	0	0	3
	H28年	3,155	693	22.0%	2,001	98	136	10	13	204	0	0	0	3
	H29年	3,127	730	23.3%	1,912	129	134	9	13	200	0	0	0	1
	H30年	3,057	706	23.1%	1,868	103	157	14	7	201	1	0	0	2
	H31年	3,300	723	21.9%	2,123	40	177	20	9	208	0	0	0	3
	10年平均	3,151	721	22.9%	1,889	120	112	24	67	215	2			

出典: 学校基本調査「大学都道府県別状況別卒業者数」

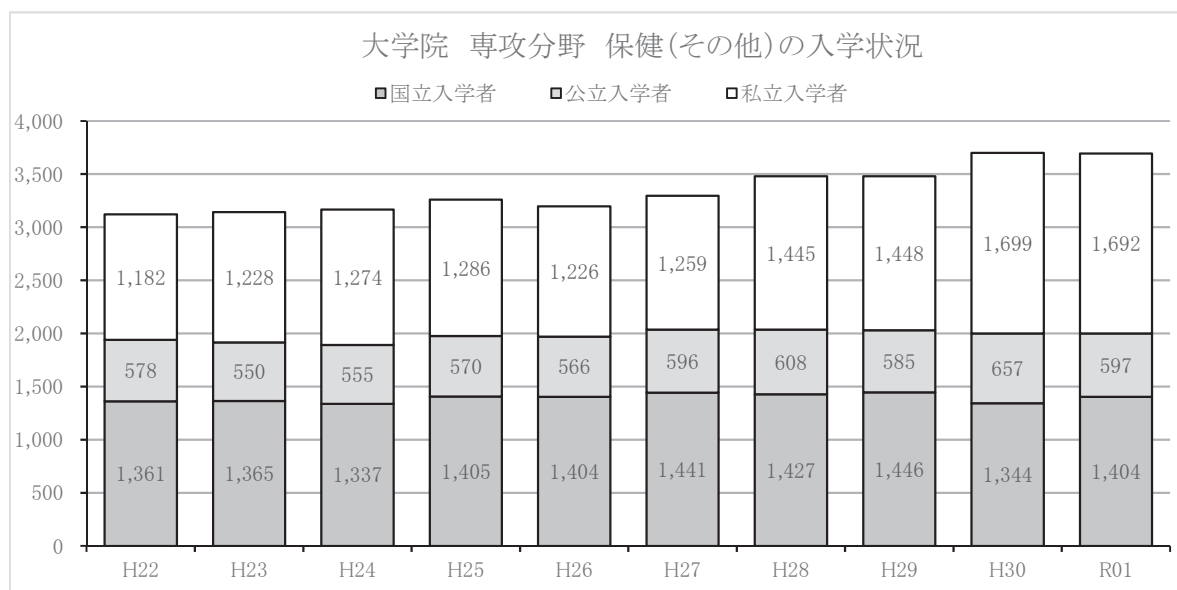
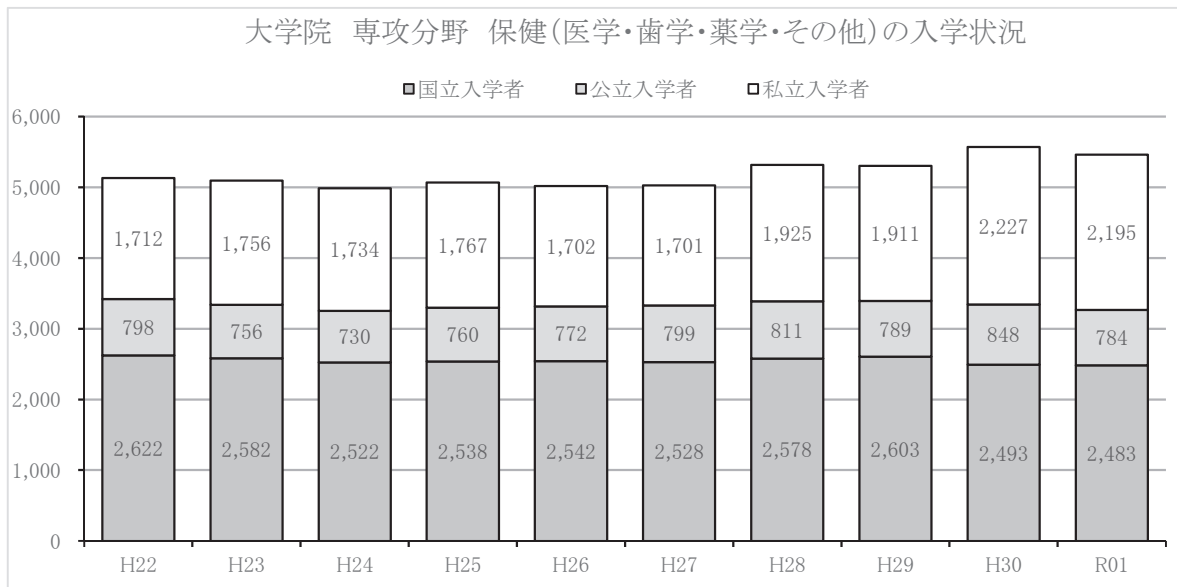
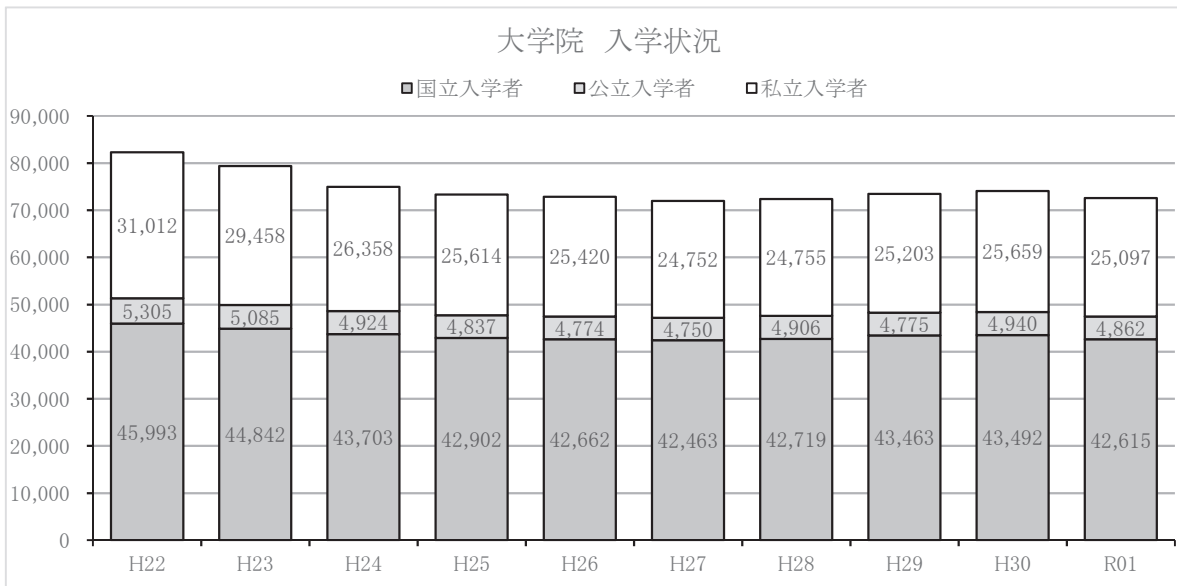
※ 各年 3月

大学院入学状況

年度	計			国立			公立			私立			
	入学 志願者	入学者	志願 倍率	入学 志願者	国立 入学者	志願 倍率	入学 志願者	公立 入学者	志願 倍率	入学 志願者	私立 入学者	志願 倍率	
H22	130,556	82,310	1.59	73,835	45,993	1.61	8,165	5,305	1.54	48,556	31,012	1.57	
H23	128,201	79,385	1.61	73,543	44,842	1.64	7,850	5,085	1.54	46,808	29,458	1.59	
H24	117,705	74,985	1.57	68,927	43,703	1.58	7,513	4,924	1.53	41,265	26,358	1.57	
H25	114,041	73,353	1.55	66,717	42,902	1.56	7,241	4,837	1.50	40,083	25,614	1.56	
H26	111,706	72,856	1.53	65,188	42,662	1.53	6,989	4,774	1.46	39,529	25,420	1.56	
H27	109,480	71,965	1.52	64,238	42,463	1.51	6,880	4,750	1.45	38,362	24,752	1.55	
H28	109,090	72,380	1.51	63,819	42,719	1.49	7,043	4,906	1.44	38,228	24,755	1.54	
H29	112,608	73,441	1.53	65,139	43,463	1.50	6,952	4,775	1.46	40,517	25,203	1.61	
H30	116,125	74,091	1.57	66,081	43,492	1.52	7,246	4,940	1.47	42,798	25,659	1.67	
R01	117,296	72,574	1.62	66,195	42,615	1.55	7,417	4,862	1.53	43,684	25,097	1.74	
10年平均	116,681	74,734	1.56	67,368	43,485	1.55	7,330	4,916	1.49	41,983	26,333	1.59	
保健	H22	7,411	5,132	1.44	3,791	2,622	1.45	1,102	798	1.38	2,518	1,712	1.47
	H23	7,213	5,094	1.42	3,727	2,582	1.44	1,038	756	1.37	2,448	1,756	1.39
	H24	6,899	4,986	1.38	3,508	2,522	1.39	989	730	1.35	2,402	1,734	1.39
	H25	6,855	5,065	1.35	3,496	2,538	1.38	963	760	1.27	2,396	1,767	1.36
	H26	6,834	5,016	1.36	3,505	2,542	1.38	1,030	772	1.33	2,299	1,702	1.35
	H27	6,881	5,028	1.37	3,549	2,528	1.40	1,016	799	1.27	2,316	1,701	1.36
	H28	7,283	5,314	1.37	3,671	2,578	1.42	1,118	811	1.38	2,494	1,925	1.30
	H29	7,346	5,303	1.39	3,641	2,603	1.40	1,071	789	1.36	2,634	1,911	1.38
	H30	7,569	5,568	1.36	3,552	2,493	1.42	1,133	848	1.34	2,884	2,227	1.30
	R01	7,543	5,462	1.38	3,585	2,483	1.44	1,097	784	1.40	2,861	2,195	1.30
	10年平均	7,183	5,197	1.38	3,603	2,549	1.41	1,056	785	1.35	2,525	1,863	1.36
保健・その他	H22	4,743	3,121	1.52	2,040	1,361	1.50	819	578	1.42	1,884	1,182	1.59
	H23	4,604	3,143	1.46	2,052	1,365	1.50	765	550	1.39	1,787	1,228	1.46
	H24	4,506	3,166	1.42	1,921	1,337	1.44	765	555	1.38	1,820	1,274	1.43
	H25	4,491	3,261	1.38	1,955	1,405	1.39	726	570	1.27	1,810	1,286	1.41
	H26	4,498	3,196	1.41	1,993	1,404	1.42	786	566	1.39	1,719	1,226	1.40
	H27	4,604	3,296	1.40	2,053	1,441	1.42	773	596	1.30	1,778	1,259	1.41
	H28	4,889	3,480	1.40	2,094	1,427	1.47	859	608	1.41	1,936	1,445	1.34
	H29	4,995	3,479	1.44	2,122	1,446	1.47	806	585	1.38	2,067	1,448	1.43
	H30	5,148	3,700	1.39	1,985	1,344	1.48	902	657	1.37	2,261	1,699	1.33
	R01	5,189	3,693	1.41	2,080	1,404	1.48	852	597	1.43	2,257	1,692	1.33
	10年平均	4,767	3,354	1.42	2,030	1,393	1.46	805	586	1.37	1,932	1,374	1.41

出典：学校基本調査「専攻分野別大学院入学状況」

※ 「保健・その他」は、医学、歯学、薬学を除いたもの。



専攻分野別出身大学の設置者別大学院入学状況

	区分	入学志願者					入学者				
		計	当該大学	他大学	外国の学校卒	その他	計	当該大学	他大学	外国の学校卒	その他
計	H22	130,556	76,600	40,051	10,797	3,108	82,310	58,398	16,325	5,554	2,033
	H23	128,201	74,598	38,039	12,418	3,146	79,385	56,440	15,114	5,846	1,985
	H24	117,705	69,299	34,216	11,356	2,834	74,985	53,096	14,313	5,752	1,824
	H25	114,041	66,384	32,544	12,113	3,000	73,353	51,400	14,018	5,925	2,010
	H26	111,706	65,112	31,332	12,370	2,892	72,856	51,134	14,071	5,732	1,919
	H27	109,480	63,323	30,146	13,152	2,859	71,965	50,279	13,710	6,037	1,939
	H28	109,090	63,182	28,810	14,382	2,716	72,380	50,552	13,334	6,630	1,864
	H29	112,608	63,234	29,369	17,023	2,982	73,441	50,848	13,366	7,258	1,969
	H30	116,125	62,482	29,094	21,604	2,945	74,091	50,935	13,009	8,234	1,913
	R01	117,296	60,920	27,912	25,522	2,942	72,574	49,507	12,335	8,781	1,951
	10年平均	116,681	66,513	32,151	15,074	2,942	74,734	52,259	13,960	6,575	1,941
保健	H22	7,411	3,010	3,196	279	926	5,132	2,465	1,753	185	729
	H23	7,213	2,980	2,951	240	1,042	5,094	2,418	1,702	181	793
	H24	6,899	2,950	2,830	218	901	4,986	2,451	1,645	165	725
	H25	6,855	2,909	2,717	239	990	5,065	2,410	1,681	177	797
	H26	6,834	2,938	2,755	205	936	5,016	2,478	1,676	138	724
	H27	6,881	3,041	2,670	242	928	5,028	2,562	1,595	152	719
	H28	7,283	3,200	2,822	284	977	5,314	2,671	1,678	194	771
	H29	7,346	3,122	2,890	342	992	5,303	2,608	1,679	244	772
	H30	7,569	3,276	2,913	377	1,003	5,568	2,769	1,790	239	770
	R01	7,543	3,229	2,876	478	960	5,462	2,671	1,745	292	754
	10年平均	7,183	3,066	2,862	290	966	5,197	2,550	1,694	197	755
私立大・保健	H22	2,518	1,121	997	44	356	1,712	880	499	25	308
	H23	2,448	1,139	871	46	392	1,756	893	492	38	333
	H24	2,402	1,138	834	49	381	1,734	912	457	40	325
	H25	2,396	1,049	821	51	475	1,767	829	505	41	392
	H26	2,299	1,063	823	44	369	1,702	878	486	28	310
	H27	2,316	1,051	805	50	410	1,701	857	475	29	340
	H28	2,494	1,070	910	49	465	1,925	907	566	40	412
	H29	2,634	1,109	947	70	508	1,911	932	497	52	430
	H30	2,884	1,250	1,017	93	524	2,227	1,057	671	66	433
	R01	2,861	1,238	999	99	525	2,195	1,013	668	68	446
	10年平均	2,525	1,123	902	60	441	1,863	916	532	43	373

	区分	入学志願者					入学者				
		計	当該 大学	他大学	外国の 学校卒	その他	計	当該 大学	他大学	外国の 学校卒	その他
設置者別構成比	H22	100.0%	58.7%	30.7%	8.3%	2.4%	100.0%	70.9%	19.8%	6.7%	2.5%
	H23	100.0%	58.2%	29.7%	9.7%	2.5%	100.0%	71.1%	19.0%	7.4%	2.5%
	H24	100.0%	58.9%	29.1%	9.6%	2.4%	100.0%	70.8%	19.1%	7.7%	2.4%
	H25	100.0%	58.2%	28.5%	10.6%	2.6%	100.0%	70.1%	19.1%	8.1%	2.7%
	H26	100.0%	58.3%	28.0%	11.1%	2.6%	100.0%	70.2%	19.3%	7.9%	2.6%
	H27	100.0%	57.8%	27.5%	12.0%	2.6%	100.0%	69.9%	19.1%	8.4%	2.7%
	H28	100.0%	57.9%	26.4%	13.2%	2.5%	100.0%	69.8%	18.4%	9.2%	2.6%
	H29	100.0%	56.2%	26.1%	15.1%	2.6%	100.0%	69.2%	18.2%	9.9%	2.7%
	H30	100.0%	53.8%	25.1%	18.6%	2.5%	100.0%	68.7%	17.6%	11.1%	2.6%
	R01	100.0%	51.9%	23.8%	21.8%	2.5%	100.0%	68.2%	17.0%	12.1%	2.7%
	10年平均	100.0%	57.0%	27.6%	12.9%	2.5%	100.0%	69.9%	18.7%	8.8%	2.6%
保健／設置者別構成比	H22	100.0%	40.6%	43.1%	3.8%	12.5%	100.0%	48.0%	34.2%	3.6%	14.2%
	H23	100.0%	41.3%	40.9%	3.3%	14.4%	100.0%	47.5%	33.4%	3.6%	15.6%
	H24	100.0%	42.8%	41.0%	3.2%	13.1%	100.0%	49.2%	33.0%	3.3%	14.5%
	H25	100.0%	42.4%	39.6%	3.5%	14.4%	100.0%	47.6%	33.2%	3.5%	15.7%
	H26	100.0%	43.0%	40.3%	3.0%	13.7%	100.0%	49.4%	33.4%	2.8%	14.4%
	H27	100.0%	44.2%	38.8%	3.5%	13.5%	100.0%	51.0%	31.7%	3.0%	14.3%
	H28	100.0%	43.9%	38.7%	3.9%	13.4%	100.0%	50.3%	31.6%	3.7%	14.5%
	H29	100.0%	42.5%	39.3%	4.7%	13.5%	100.0%	49.2%	31.7%	4.6%	14.6%
	H30	100.0%	43.3%	38.5%	5.0%	13.3%	100.0%	49.7%	32.1%	4.3%	13.8%
	R01	100.0%	42.8%	38.1%	6.3%	12.7%	100.0%	48.9%	31.9%	5.3%	13.8%
	10年平均	100.0%	42.7%	39.8%	4.0%	13.4%	100.0%	49.1%	32.6%	3.8%	14.5%
私立大・保健／設置者別構成比	H22	100.0%	44.5%	39.6%	1.7%	14.1%	100.0%	51.4%	29.1%	1.5%	18.0%
	H23	100.0%	46.5%	35.6%	1.9%	16.0%	100.0%	50.9%	28.0%	2.2%	19.0%
	H24	100.0%	47.4%	34.7%	2.0%	15.9%	100.0%	52.6%	26.4%	2.3%	18.7%
	H25	100.0%	43.8%	34.3%	2.1%	19.8%	100.0%	46.9%	28.6%	2.3%	22.2%
	H26	100.0%	46.2%	35.8%	1.9%	16.1%	100.0%	51.6%	28.6%	1.6%	18.2%
	H27	100.0%	45.4%	34.8%	2.2%	17.7%	100.0%	50.4%	27.9%	1.7%	20.0%
	H28	100.0%	42.9%	36.5%	2.0%	18.6%	100.0%	47.1%	29.4%	2.1%	21.4%
	H29	100.0%	42.1%	36.0%	2.7%	19.3%	100.0%	48.8%	26.0%	2.7%	22.5%
	H30	100.0%	43.3%	35.3%	3.2%	18.2%	100.0%	47.5%	30.1%	3.0%	19.4%
	R01	100.0%	43.3%	34.9%	3.5%	18.4%	100.0%	46.2%	30.4%	3.1%	20.3%
	10年平均	100.0%	44.5%	35.7%	2.4%	17.4%	100.0%	49.2%	28.5%	2.3%	20.0%

出典：学校基本調査「分野別設置者別入学者数」 ※「その他」：専修学校等

専攻分野別 大学院学生数

修士課程

区分		計	1年次	2年次	3年次	左記「計」のうち社会人	社会人構成比
H22		173,831	85,003	88,812	16	20,199	11.6%
H23		175,980	82,124	93,807	49	19,715	11.2%
H24		168,903	77,717	91,147	39	19,182	11.4%
H25		162,693	75,965	86,671	57	19,433	11.9%
H26		159,929	75,560	84,315	54	19,221	12.0%
H27		158,974	75,318	83,613	43	19,437	12.2%
H28		159,114	75,896	83,175	43	19,516	12.3%
H29		160,387	77,238	83,109	40	19,675	12.3%
H30		163,100	78,572	84,480	48	19,703	12.1%
R01		162,261	77,074	85,187	0	19,324	11.9%
10年平均		164,517	78,047	86,432	39	19,541	11.9%
保健	H22	12,515	5,192	7,313	10	4,484	35.8%
	H23	11,101	5,159	5,933	9	4,416	39.8%
	H24	11,051	5,078	5,965	8	4,545	41.1%
	H25	11,105	5,162	5,917	26	4,773	43.0%
	H26	11,081	5,134	5,920	27	4,726	42.6%
	H27	11,195	5,138	6,034	23	4,784	42.7%
	H28	11,663	5,463	6,175	25	5,050	43.3%
	H29	11,922	5,468	6,429	25	5,132	43.0%
	H30	12,207	5,754	6,424	29	5,325	43.6%
	R01	12,371	5,667	6,704	0	5,419	43.8%
10年平均		11,621	5,322	6,281	18	4,865	41.9%
保健・その他	H22	6,823	3,143	3,670	10	3,905	57.2%
	H23	7,002	3,172	3,821	9	3,877	55.4%
	H24	7,106	3,202	3,896	8	4,030	56.7%
	H25	7,283	3,301	3,956	26	4,254	58.4%
	H26	7,258	3,249	3,982	27	4,151	57.2%
	H27	7,446	3,342	4,081	23	4,237	56.9%
	H28	7,871	3,571	4,275	25	4,534	57.6%
	H29	8,019	3,566	4,428	25	4,556	56.8%
	H30	8,290	3,824	4,437	29	4,754	57.3%
	R01	8,473	3,819	4,654	0	4,844	57.2%
10年平均		7,557	3,419	4,120	18	4,314	57.1%

出典: 学校基本調査「専攻分野別大学院学生数」

長野県内保健系大学院（修士課程）の入学状況

大学院	研究科	年度	H28	H29	H30	R01
佐久大学大学院	看護学 研究科 (修士課程)	入学定員	5	5	10	10
		入学者数	4	4	9	7
		入学定員充足率	80.0%	80.0%	90.0%	70.0%
信州大学大学院 医学系研究科 (修士課程)	医科学専攻	入学定員				12
		志願者数	※入学者構成比で案分			13
		入学者数				9
		入学定員充足率				75.0%
	保健学専攻 (看護学) (検査技術) (理学・作業)	入学定員				14
		志願者数	※入学者構成比で案分			26
		入学者数				18
		入学定員充足率				128.6%
	計	入学定員				26
		志願者数				39
		入学者数				27
		入学定員充足率				103.8%
長野県看護大学 大学院	看護学 研究科 博士前期課程 (修士課程)	入学定員	16	16	16	16
		志願者数	9	6	7	6
		受験者数	9	6	7	6
		合格者数	6	5	6	6
		入学者数	6	5	6	5
		入学定員充足率	37.5%	31.3%	37.5%	31.3%

※各大学のホームページの情報公開(R02.1.20アクセス)から抜粋したデータである。

※ 信州大学大学院の志願者数は、医科系研究科の志願者のみが公表されているため、各専攻の志願者数は参考として入学者数で案分し斜体で表示した。

長野保健医療大学入学者の推移

和暦 年度	入学 定員	志願者数	入学者数	定員 充足率	保健科学部				看護学部	
					リハビリテーション学科				看護学科	
					理学療法学専攻		作業療法学専攻			
					入学定員 40人	定員 充足率	入学定員 40人	定員 充足率	入学定員 80人	定員 充足率
H27 (2015)	80	219	94	117.9%	47	117.5%	45	112.5%		
H28 (2016)	80	196	95	119.2%	49	122.5%	44	110.0%		
H29 (2017)	80	180	87	108.9%	47	117.5%	38	95.0%		
H30 (2018)	80	122	88	110.2%	47	117.5%	39	97.5%		
R01 (2019)	160	333	177	110.8%	45	112.5%	45	112.5%	85	106.3%

※平成27(2015)年に大学化

※平成31(2019)年4月に看護学部を開設

保健系私立大学大学院の入学志願者推計

区 分		北信地方	東信地方	中信地方	南信地方	計
人口		613,992	399,542	505,428	530,061	2,049,653
病院勤務 従業者 【資料1】	看護職	4,032	2,595	2,957	3,197	12,781
	PT,OT	572	562	604	603	2,341
施設数		35	27	27	24	113
保健系 大学	大学数	2	1	1	1	5
	入学定員	236	90	106	80	512 a
	うち看護	156	90	70	80	396 b
	うちPTOT	80		36		116 c
保健系 大学院 【資料2】	大学院数	0	1	1	1	3
	入学定員	0	10	14	16	40 d
構想含む保 健系大学院	大学院予定数	2	1	1	1	5 e
	入学予定定員	16	10	14	16	56
大学設置者		私立	私立	国立	公立	

※人口出典：長野県毎月人口異動調査「令和元年 長野県の人口（令和元年10月1日現在）」
県計人口と市町村人口との推計方法が異なるため、市計と郡計を合算しても県計とは一致しない。

※保健系大学は、看護学、理学療法学・作業療法学を含む。

◆大学卒業者の進学者推計

大学卒業者の 大学院進学率【資料5】	10年平均	進学者推計	本学	他大学	備考
大学卒業者(看護学) f	3.4%	13.5人	2.8人	10.7人	b×f
大学卒業者(その他) g	5.7%	6.6人	4.6人	2.0人	c×g
計		20.1人	7.4人	12.7人	h

◆大学院志願者推計

大学院進学率【資料6】	10年平均	志願者推計	本大学院	他大学院	備考
長野県内の大学 i	22.9%	117.2人	36.6人	80.6人	a×i

大学院の定員に対する 志願者倍率【資料7】	10年平均	志願者推計	本大学院	他大学院	備考
私立大保健・その他 j	1.41	79.0人	11.3人	67.7人	k=e×j

設置者別私立大学院の 志願者構成比【資料8】	10年平均	志願者推計	本大学院	他大学院	備考
保健の当該大学 l	44.5%	35.2人	5.1人	30.1人	k×l
保健の他大学 m	35.7%	28.2人	4.1人	24.2人	k×m
保健の外国の学校卒 n	2.4%	1.9人	0.3人	1.6人	k×n
保健のその他 o	17.4%	13.7人	2.0人	11.8人	k×o
計		79.0人	11.5人	67.7人	

長野保健医療大学大学院

**保健学研究科保健学専攻（修士課程）（仮称）の
設置及び入学意向等に関する
アンケート調査報告
（医療従事者）**

令和2（2020）年2月

長野保健医療大学 地域保健医療研究センター

長野保健医療大学大学院
保健学研究科保健学専攻（修士課程）（仮称）の
設置及び入学意向等に関するアンケート調査報告

1 調査の概要

(1) 調査の目的

令和3（2021）年4月に長野保健医療大学が設置を構想している長野保健医療大学大学院 保健学研究科保健学専攻（修士課程）（仮称）（以下「構想大学院」という。）について、設置及び入学意向を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象者

ア 県内の病院等の医療従事者（保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士）

①病院：長野県内に所在し、以下の抽出条件に該当する60の病院に従事する医療従事者

理学療法士、作業療法士は常勤の全従事者
看護職は常勤従事者の概ね1割程度の選出を依頼 3,220人

〔抽出条件〕

- ・北信地方、東信地方において一般病床が100床以上の病院 22病院
- ・上記以外でも、理学療法士又は作業療法士が10人以上の病院 10病院
- ・上記以外でも看護職が50人以上の病院 1病院
- ・中信地域と南信地域を含め、本学卒業生（前身の専門学校を含む。）が就職した病院 27病院

②介護老人保健施設に従事する医療従事者 155人

〔抽出条件〕

- ・本学卒業生（前身の専門学校を含む。）が就職した26の介護老人保健施設

③長野県及び北信地方・東信地方の30市町村に勤務する保健師 466人
計 3,846人

イ 長野保健医療大学に在学する学生 421人

（うち大学院開設時に入学対象となる3年生 78人）

合計 4,262人

(3) 調査方法

ア 医療従事者

長野県内に所在する60病院

本学卒業生（前身の専門学校を含む。）が就職した介護老人保健施設の26施設

長野県及び30市町村

それぞれの施設管理者に対して大学院設置構想の概要及びアンケート用紙を送付し、当該施設等に勤務する理学療法士、作業療法士、保健師、助産師、看護師等への配布を依頼した。回答用紙は、専用の返信用封筒により、長野保健医療大学地域保健医療

研究センターあてに回答者から直接返送を依頼した。

イ 本学在学学生

長野保健医療大学に在学する学生に対して大学院設置構想の概要及びアンケート用紙を配布し、教室等でアンケート用紙に直接記入する方法により実施した。回答用紙は、本学の本館と南館に設置した専用のレターボックスに在学学生が直接投函することとした。

※送付した「大学院設置構想の概要」には、「上記の内容は設置を構想中であり、今後変更することがあります。」と明記した。

(4) 調査実施期間

令和元（2019）年 11 月～12 月

(5) 回収率等

回答者数：

①長野県内の病院等に勤務する医療系専門職	1, 392 人		
		(うち有効回答数	1, 386 人)
②本学に在籍する学生	300 人	(うち有効回答数	299 人)
		合 計	1,692 人

回収率：

① 長野県内の病院等に勤務する医療従事者	36.2% (有効回収率 36.1%)
② 本学に在籍する学生	71.3% (有効回収率 71.0%)
③ 合計	39.7% (有効回収率 39.5%)

※ 返送された調査票のうち、調査項目が半数以上無回答のものは無効とした。

2 調査結果

(1) 医療従事者調査

ア 回答者の属性

回答者 1,386 人の性別は、男性が 431 人 (31.1%)、女性が 953 人 (68.8%)、無回答が 2 人である。年代別では 20 歳代が 331 人 (23.9%)、30 歳代が 420 人 (30.3%)、40 歳代が 360 人 (26.0%)、50 歳以上が 271 人 (19.5%)、無回答が 4 人で、30 歳代が最も多かった。男性は 30 歳代が 182 人 (42.2%) で最も多く、女性は 40 歳代が 280 人 (29.4%) で最も多かった。(図 1)

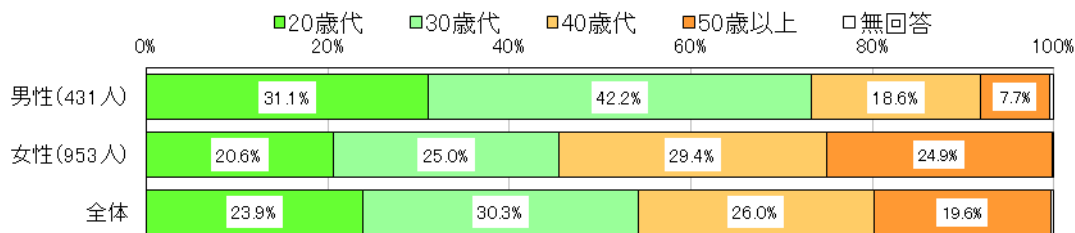


図1 性別年代別回答者の割合

職種別回答者数の内訳をみると、理学療法士では 443 人中 20 歳代・30 歳代が 332 人で 74.9% を占め、作業療法士では 235 人中 20 歳代・30 歳代が 174 人で 74.0% を占めており比較的若い年齢層から回答を得た。(図 2)

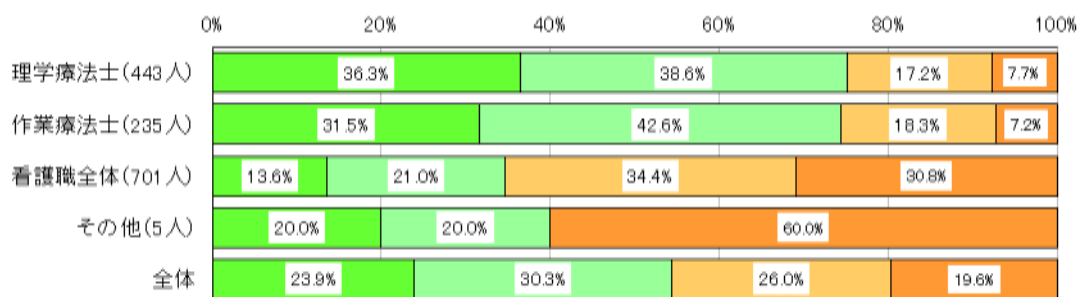


図2 職種別年代別回答者構成比

看護職の内、看護師は 454 人中 40 歳代・50 歳以上が 320 人で 70.5% を占めており、比較的高い年齢層から回答を得た。ちなみに、保健師・助産師・看護師の合計は 701 人であり、40 歳代・50 歳以上が 457 人で 65.2% を占めた。(図 3)

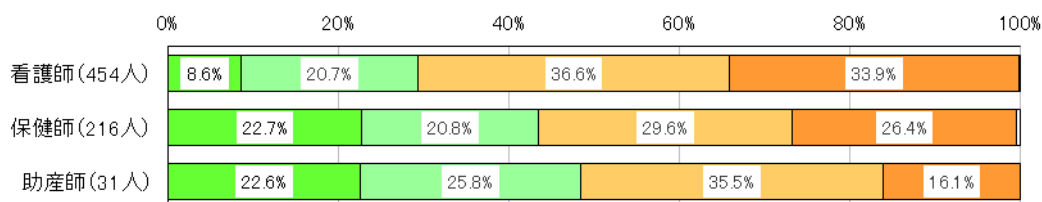


図3 看護職の年代別回答者構成比

職種別の最終学歴は、全体でみると専門学校が最も多く、853人（61.5%）、次いで大学が369人（26.6%）であり、合わせて88.2%を占めた。

職種別の最終学歴の内訳は、理学療法士では大学卒が138人（31.2%）、専門学校卒が最も多く258人（58.2%）であった。作業療法士においても大学卒が82人（34.9%）、専門学校卒が最も多く131人（55.7%）であった。

なお、理学療法士のうちの131人（29.6%）、作業療法士のうちの57人（24.3%）は、本学の前身である長野医療技術専門学校卒業生（高度専門士）及び本学卒業生であった。（図4）

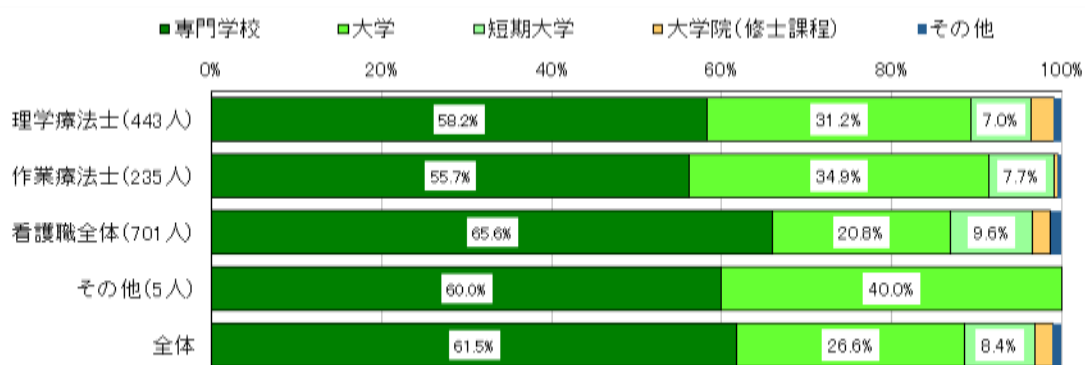


図4 職種別最終学歴構成比

看護職全体の最終学歴の内訳をみると、看護師では専門学校卒が372人（81.9%）と最も多く、保健師では大学卒が101人（46.8%）で最も多く、次いで専門学校卒が83人（38.4%）であった。助産師では短期大学卒が最も多く14人（45.2%）、大学卒が11人（35.5%）であった。（図5）

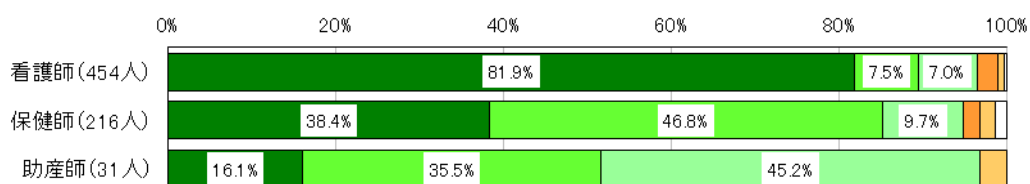


図5 看護職の最終学歴構成比

回答者の居住地は、本学が所在する長野地域及び中野・飯山地域を含む北信地方が 661 人 (47.7%)、上田・小県地域と佐久地域を含む東信地方が 284 人 (20.5%)、松本・大北地域を含む中信地方が 255 人 (18.4%)、諏訪・伊那飯田地域を含む南信地方が 173 人 (12.5%) であった。(図 6)

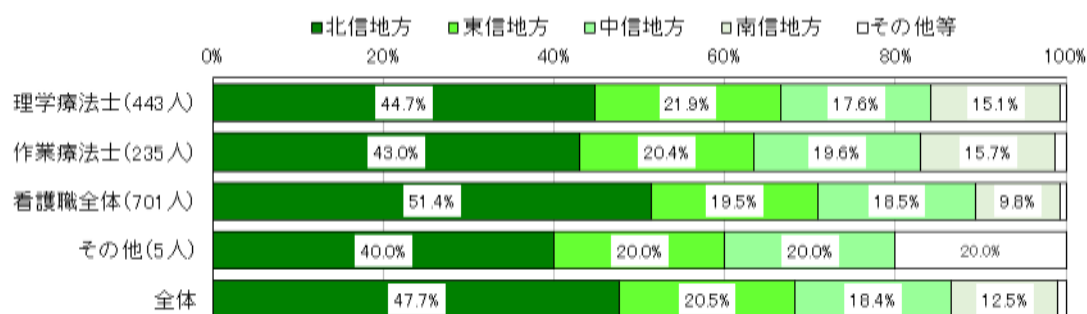


図6 職種別居住構成比

看護師では、北信地方が 229 人 (50.5%)、中信地方が 111 人 (24.4%) であり、他の地方に比べ回答者が高い割合となった。保健師では、北信地方と東信地方の市町村で従事する者を対象としたため、北信地方が 119 人 (55.1%)、東信地方が 76 人 (35.1%) であり。助産師では、北信地方が 12 人 (38.7%)、中信地方が 11 人 (35.5%) であった。(図 7)

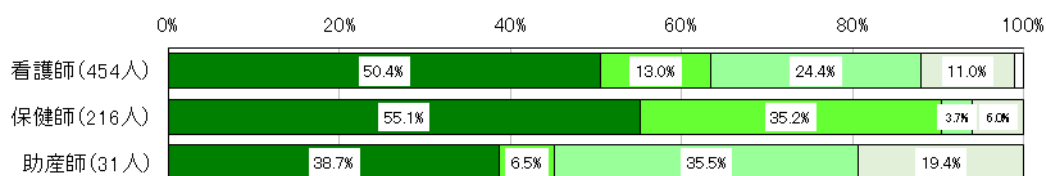


図7 看護職の居住地別構成比

回答者の勤続年数は、「10年以上20年未満」が最も多く438人（31.6%）、「20年以上」が428人（30.9%）、「5年未満」が264人（19.0%）、「5年以上10年未満」が255人（18.4%）の順であった。これを職種別にみると、理学療法士、作業療法士、助産師では「10年以上20年未満」が最も多く、それぞれ34.8%、38.3%、32.3%となっており、看護師と保健師では「20年以上」が最も多くそれぞれ54.6%、38.4%であった。

理学療法士と作業療法士は、本学の前身である長野医療技術専門学校を開校して以来、長野県下に多くの人材を輩出してきたことから、20歳代、30歳代で臨床経験が15年未満の者の回答が多いものと考えられる。（図8）

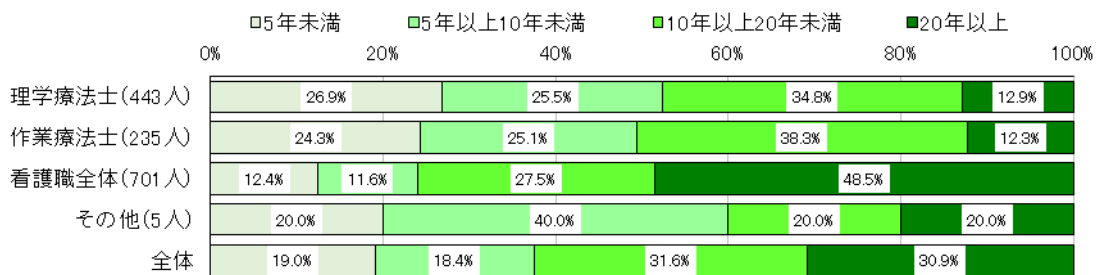


図8 職種別勤続年数構成比

イ 構想大学院のこれからの保健医療福祉の発展と向上における有益性

構想大学院について、これからの地域の保健医療福祉の発展と向上のために有益であるかという設問に対して、「非常に有益だと思う」と「有益だと思う」という賛同する回答が1,189人で85.8%を占めており、期待が高いことが分かる。（図9）

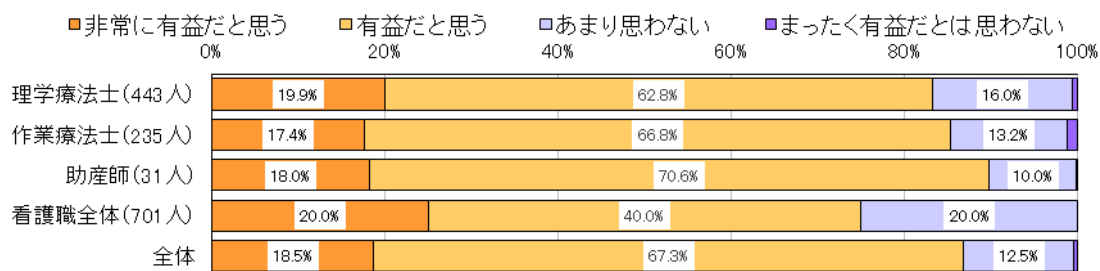


図9 構想大学院の有益性構成比

ウ 自身の将来について（複数回答）

① 回答者全体の回答構成比

回答者自身の将来についての考え方では、997人（71.9%）が何らかの展望を持っていると回答した。

図10に示すように、全体として「幅広い知識を修得し、専門性を高めたい」とする者が879人で63.4%を占め、「臨床現場での管理職につきたい」が178人で12.8%、「教職に就きたい」が73人で5.3%、と「研究職に就きたい」が43人で3.1%を占めた。

回答者が自身の将来として描いている「幅広い知識を修得し、専門性を高める」に留まらず、「臨床現場での管理職」、「教職」や「研究職」となるためのひとつの手段として、大学院修士課程における学修が選択肢となりうるものとする。

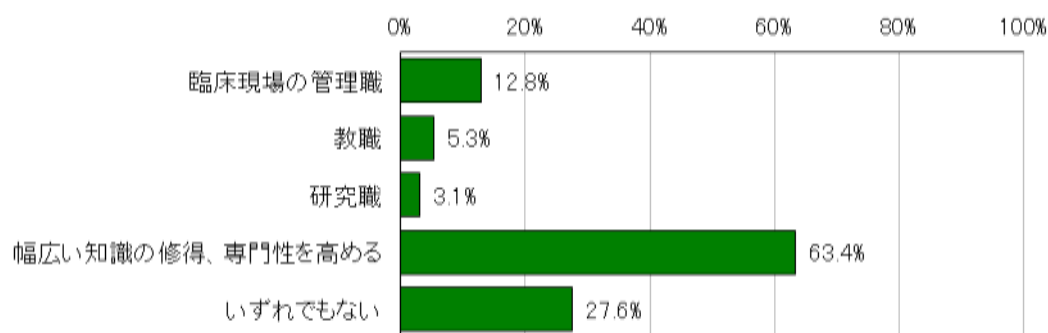


図10 自身の将来展望

② 職種別年代別回答数（複数回答）構成比

回答者自身の将来として「幅広い知識を修得し、専門性を高める」を選択した回答を年代別にみると、20歳代では76.4%、30歳代では72.1%であるのに対して、40歳代では59.7%、50歳以上では39.1%であった。いずれの項目も順次減少するのに対して、逆に「いずれでもない」は順次増加している。（図11）

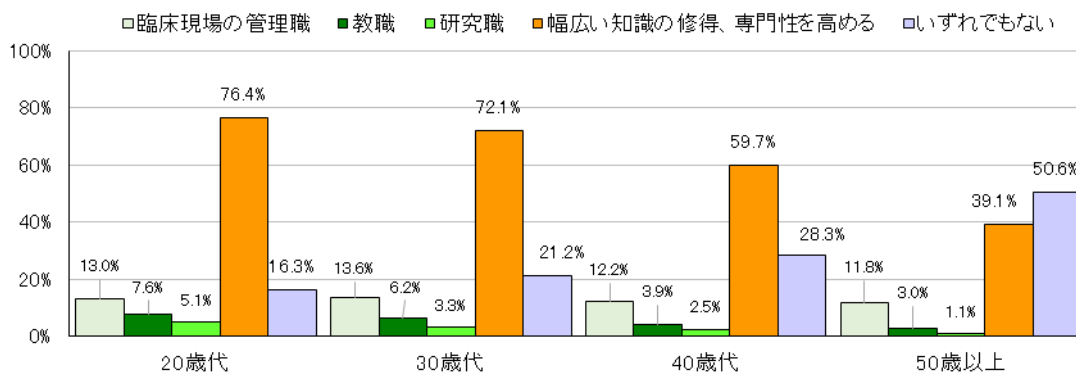


図11 自身の将来展望（複数回答）

「幅広い知識の修得及び専門性を高める」を選択した者を職種別年代別にみると、理学療法士では、20歳代の77.6%から50歳以上の41.2%へと36.4ポイント減少している。作業療法士では、20歳代の85.1%から50歳以上の29.4%へと55.7ポイント減少している。看護職計では、20歳代の67.4%から50歳以上の39.8%へと27.6ポイント減少している。(図12)

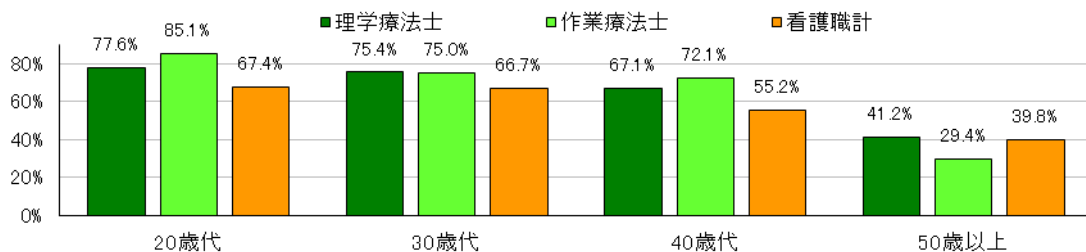


図12 自身の将来展望・幅広い知識と専門性(複数回答)

「臨床現場で管理職に就きたい」を選択した者についてみると、理学療法士では、20歳代の16.8%から50歳以上の14.7%へと2.1ポイント減少している。作業療法士では、20歳代の10.8%から40歳代の16.3%へと5.5ポイント増加しているが、50歳以上では皆無となっている。長野県内の理学療法士・作業療法士の年齢構成の偏りにより、40代後半以上の年齢層が既に管理職的な立場となっていることが考えられる。

看護師についてみると20歳代の7.7%から50歳以上の15.6%にほぼ倍増しており、助産師では、20歳代・30歳代で皆無であったものが、40歳代で9.1%、50歳以上で20.0%と皆増している。師長、看護部長等への任用時期に重なっているものと考えられる。(図13)

近年、規模の大きな病院等が看護部長への任用要件として修士課程の修了者であることを検討し始めているため、構想大学院がその受け皿になると考えている。

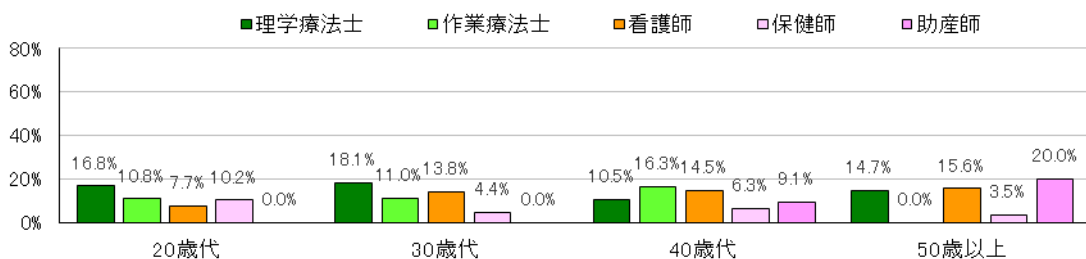


図13 自身の将来展望・臨床現場の管理職(複数回答)

「教職に就きたい」を選択した者についてみると、理学療法士が20歳代で16人、30歳代で10人、40歳代で3人、50歳以上で1人であった。作業療法士が20歳代で4人、30歳代で6人、40歳代で2人であった。看護師が20歳代で4人、30歳代で8人、40歳代で7人、50歳以上で5人であり、保健師、助産師についても教職に就きたいという希望者がいた。(図14)

理学療法士と作業療法士が教職を目指す場合、学部又は大学院で教職科目を2科目4単位履修することが必要となっている。教職に就きたい者の要望に応えられるよう、構想大学院では教職科目を設けているため、受け皿になり得ると考えている。

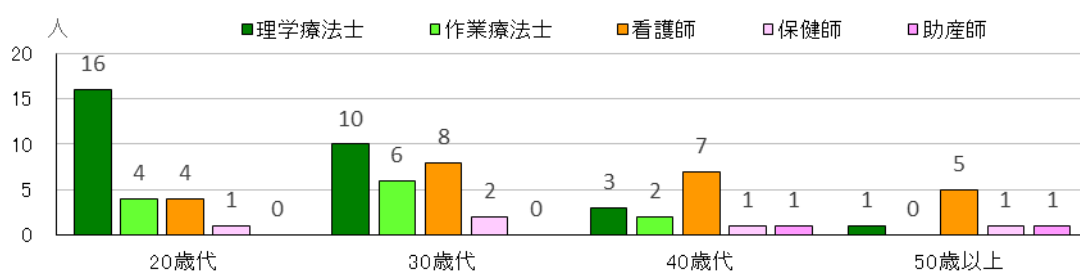


図14 自身の将来展望・教職(複数回答)

「研究職に就きたい」を選択した者についてみると、理学療法士が20歳代で10人、30歳代で8人、40歳代で4人、50歳以上で1人であった。

作業療法士が20歳代で4人、30歳代で3人、40歳代で1人であった。看護師では20歳代で1人、30歳代で3人、40歳代で3人、50歳以上で2人おり、保健師では20歳代で2人、40歳代で1人教職に就きたい者がいた。構想大学院は研究職に就きたい者の受け皿になり得るものとする。(図15)

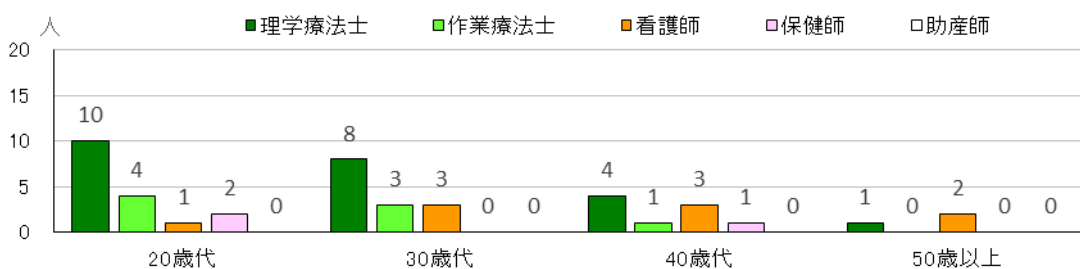


図15 自身の将来展望・研究職(複数回答)

理学療法士・作業療法士の中から、教職や研究職を選択した者が存在していることは、長野県内で中堅以上の層が厚くなりつつある理学療法士・作業療法士の臨床現場で指導的な立場の者やより高い専門知識を有する者を必要としていることを示唆している。

エ 構想大学院への進学意向について

調査時点において、「本学が構想中の大学院に進学したい。」、「本学が構想中の大学院への進学を優先するが、他大学大学院への進学も検討する。」、「他大学大学院への進学を考えている。」という回答を合わせた大学院への進学を考えている者が94人(6.8%)おり、構想大学院及び他の大学院も検討を含め進学を考えている者が57人、そのうち構想大学院への進学を考えている者が25人(1.8%)であった。このため、「他の大学院も検討する」とした者については、「本学への進学を優先する」としていることから、構想大学院への進学を考えている者は57人であり、定員の約7倍の学生が進学を希望していることとなり、構想大学院の学生を確保ができるものとする。

57人の内訳を職種別にみると、看護師が最も多く25(43.9%)人、次いで理学療法士19人(33.3%)、作業療法士9人(15.8%)、保健師・助産師それぞれ2人が本学大学院への進学を希望していた。進学希望者の内容は、構想大学院が基礎としている学部の構成と符合するものであり、構想大学院での教育課程において想定している学生とも一致している。

57人の内訳を最終学歴別にみると、専門学校、大学、短期大学の順とであった。

表1 構想大学院への進学意向

回 答	理学療法士	作業療法士	看護師	保健師	助産師	看護職計	その他	無回答	計	
本学大学院に進学 A	12	4	8	1	0	9	0	0	25	
本学優先、他学も検討B	7	5	17	1	2	20	0	0	32	
他学への進学 C	12	5	15	2	3	20	0	0	37	
今は考えていない。	354	193	335	184	19	538	4	2	1,091	
分からない	57	28	71	27	7	105	0	0	190	
無回答	1	0	8	1	0	9	1	0	11	
計	443	235	454	216	31	701	5	2	1,386	
【再掲】	A+B+C	31	14	40	4	5	49	0	0	94
	A+B	19	9	25	2	2	29	0	0	57
本学大学院に進学	2.7%	1.7%	1.8%	0.5%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.8%	
本学優先、他学も検討	1.6%	2.1%	3.7%	0.5%	6.5%	2.9%	0.0%	0.0%	2.3%	
他学への進学	2.7%	2.1%	3.3%	0.9%	9.7%	2.9%	0.0%	0.0%	2.7%	
今は考えていない。	79.9%	82.1%	73.8%	85.2%	61.3%	76.7%	80.0%	100.0%	78.7%	
分からない	12.9%	11.9%	15.6%	12.5%	22.6%	15.0%	0.0%	0.0%	13.7%	
無回答	0.2%	0.0%	1.8%	0.5%	0.0%	1.3%	20.0%	0.0%	0.8%	
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
最終学歴	専門学校	15	4	18	0	0	18	0	0	37
	大学	4	4	4	2	0	6	0	0	14
	短期大学	0	1	3	0	2	5	0	0	6
	計	19	9	25	2	2	29	0	0	57

大学院への進学を考えている94人について、自身の将来展望との関係を見ると、「幅広い知識の習得と専門性を高める」と選択した者の割合については、構想大学院への進学を優先すると回答した、保健師で100%、助産師で100%、理学療法士で65.7%、看護師で76.5%、作業療法士で60.0%など全体的に高い。(図16)

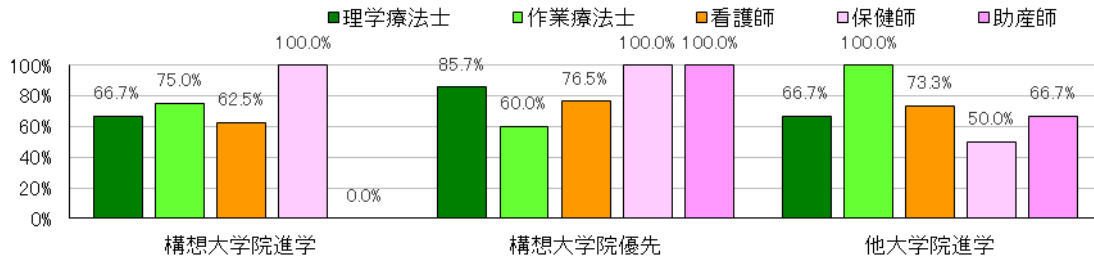


図16 進学意向別自身の将来展望・幅広い知識と専門性(複数回答)

「臨床現場での管理職に就きたい」を選択した者の割合が、構想大学院への進学と回答した看護師で62.5%と特に高い。次いで構想大学院への進学優先と回答した作業療法士で60.0%、構想大学院への進学と回答した理学療法士で50.0%と比較的高い。(図17)

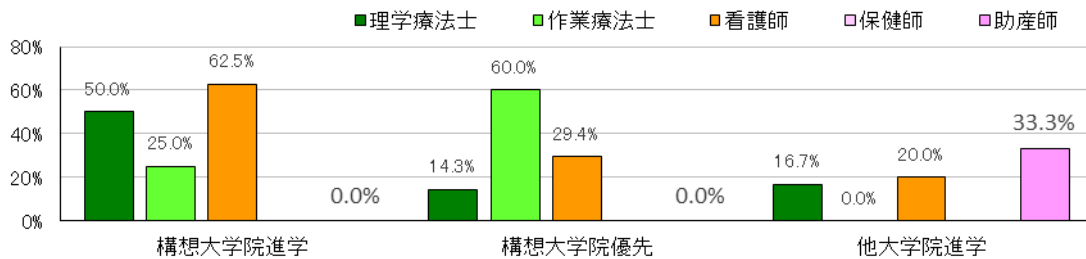


図17 進学意向別自身の将来展望・臨床現場の管理職(複数回答)

「教職に就きたい」を選択した者の割合が、構想大学院への進学優先と回答した作業療法士で40.0%、理学療法士で28.6%、看護師で23.5%であった。(図18)

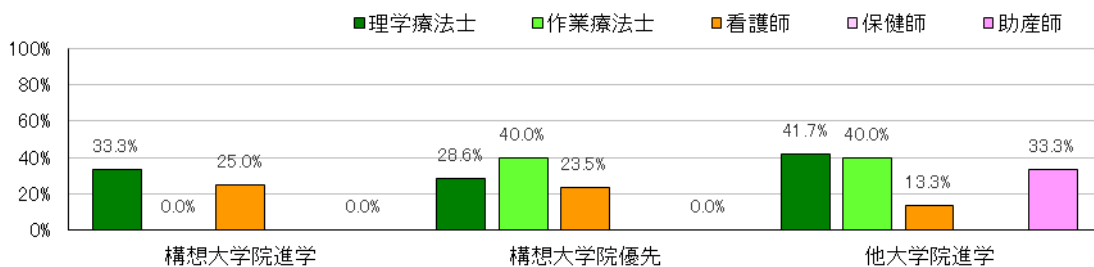


図18 進学意向別自身の将来展望・教職(複数回答)

「研究職に就きたい」を選択した者の割合が、構想大学院への進学優先と回答した理学療法士で57.1%、看護師で11.8%であり、構想大学院への進学、他大学院への進学とも理学療法士が比較的高い。(図19)

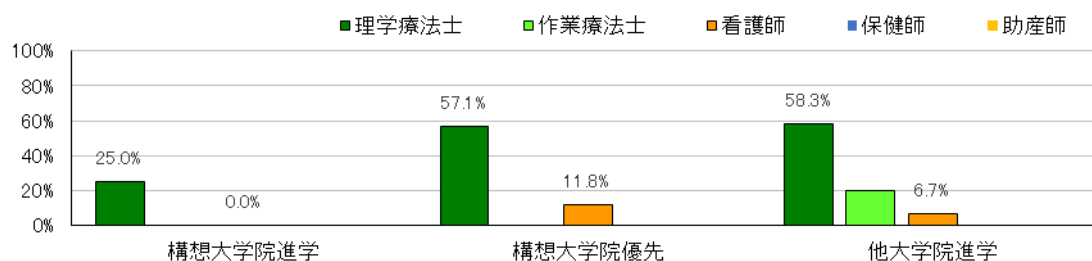


図19 進学意向別自身の将来展望・研究職(複数回答)

大学院進学を考えている者については、将来展望として「幅広い知識の習得と専門性を高める」を選択した者がかなり高い割合であることに加えて、「臨床現場の管理職に就きたい」を選択した者も比較的多かった。また、教職、研究職についても構想大学院への進学、構想大学院への優先進学と回答した者の中に存在している。

オ 構想大学院への進学時期について

構想大学院への進学時期別にみると、57人中「1~2年以内」が17人(29.8%)、「3~5年以内」が20人(35.1%)、「10年以内」が9人(15.8%)、「分からない」とした者が11人(19.3%)であり、学生を確保できる見通しである。現時点では分からないとしている者についても、大学院案内等により内容が具体的に分かってきた段階で進学に転じていくものと予想される。

以上を踏まえ、中長期的かつ安定的に学生を確保できるものとする。

表2 構想大学院への進学意向別進学時期別職種別回答数

回答	理学療法士	作業療法士	看護師	保健師	助産師	看護職計	その他	無回答	計
構想中の本学大学院への進学	1~2年以内	5	1	5	0	0	5	0	11
	3~5年以内	2	1	1	1	0	2	0	5
	10年以内	1	0	0	0	0	0	0	1
	分からない	4	2	2	0	0	2	0	8
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12	4	8	1	0	9	0	0
構想中の本学大学院への進学優先、他大学院への進学も検討	1~2年以内	1	1	2	1	1	4	0	6
	3~5年以内	4	0	11	0	0	11	0	15
	10年以内	2	3	3	0	0	3	0	8
	分からない	0	1	1	0	1	2	0	3
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	5	17	1	2	20	0	0
計	1~2年以内	6	2	7	1	1	9	0	17
	3~5年以内	6	1	12	1	0	13	0	20
	10年以内	3	3	3	0	0	3	0	9
	分からない	4	3	3	0	1	4	0	11
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	19	9	25	2	2	29	0	0

カ 大学院修士課程の進学やキャリア形成につながる学修環境（複数回答）

① 回答者全体の選択状況

大学院修士課程の進学やキャリア形成につながる学修環境として回答があったもののうち、「長期履修制度」が754人（54.4%）、「昼夜開講制度」が626人（45.2%）、「職場内のキャリアアップ制度」が710人（51.2%）であった。（図20）

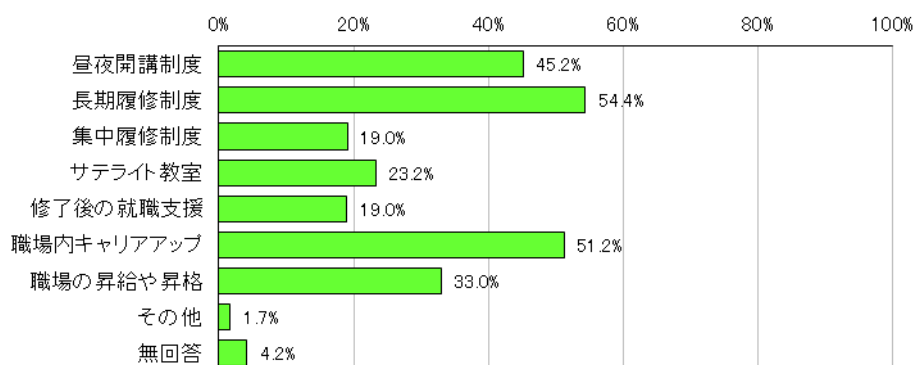


図20 望む学修環境(複数回答)

② 進学意向がある回答者の選択状況（複数回答）

大学院修士課程の進学やキャリア形成につながる学修環境について、前述の進学意向がある57人についてみると、全体の回答内容とは異なり、「長期履修制度」が44人（77.2%）、「昼夜開講制度」が40人（70.2%）という結果となった。本学が構想中の大学院に受け入れる予定の社会人については、修学のための利便を図るためにも両制度の取り組みが必要であることが明らかになった。

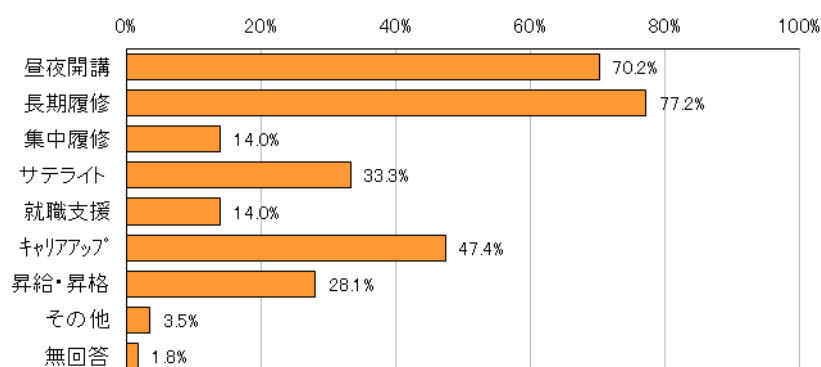


図21 進学意向者(57人)の望む学修環境(複数回答)

(2) 在学生調査

ア 回答者の属性

① 学科・専攻別、性別、学年別回答者数

調査対象とした在学生 421 人に対して、有効回答者が 299 人であり有効回収率は 71.0%であった。うち大学院設置時に入学対象となる 3 年生 78 人に対して、有効回答者が 49 人であり有効回答率は 62.8%であった。

学科・専攻別性別回答者は、女性が全体では 3 分の 2、理学療法学専攻では約半数、作業療法学では 4 分の 3、看護学科では約 9 割を占めた。在学生の男女比が 2 対 3 であるため女性の回答が多かった。(図 2 2)

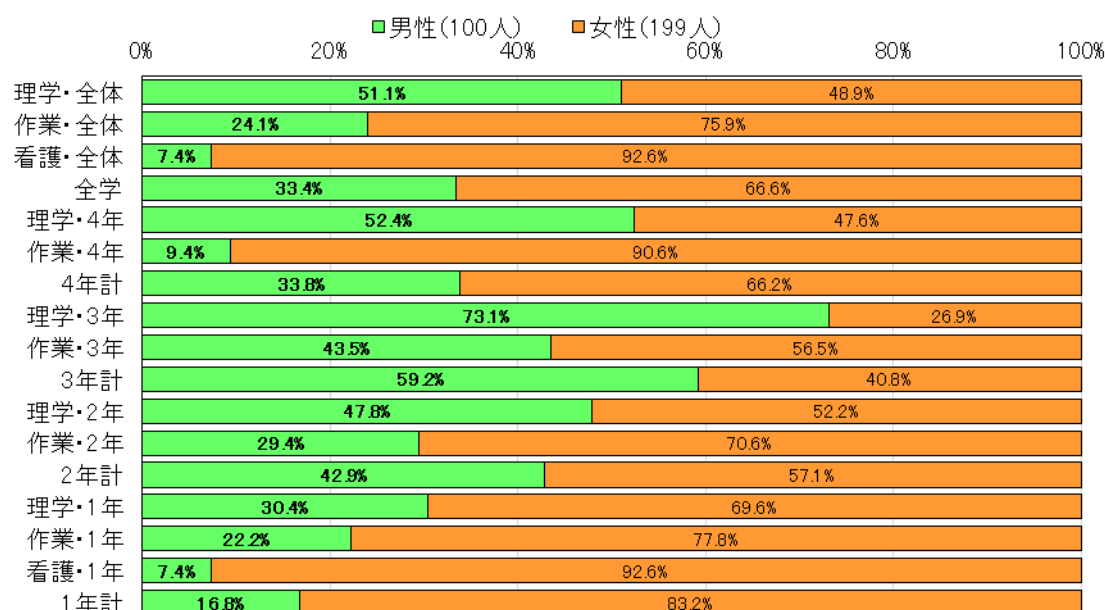


図22 学科・専攻別性別学年別回答者構成比

② 居住地

回答者のうち長野地域と中野・飯山地域を合わせた北信地方に居住する者が 63.2%を占め、次いで松本・大北地域が 21.4%、上小・小県地域と佐久地域を合わせた東信地方に居住する者が 13.0%を占め、遠方となる南信地方は少なかった。(図 2 3)

学科・専攻別でも同様の傾向となっているが、看護学科では北信地方の割合が高かった。

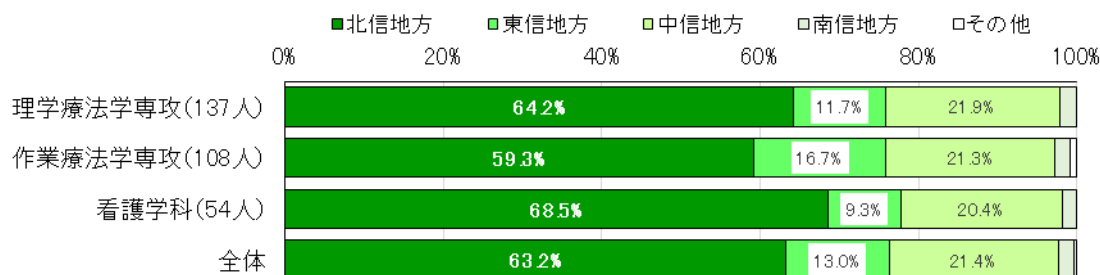


図23 学科・専攻別居住地構成比

③ 卒業後の進路

回答者が調査時点で考えている卒業後の進路は、全体では96.7%が理学療法士、作業療法士、看護師、保健師の「専門職として働く」としていた。

リハビリテーション学科の理学療法学専攻・作業療法学専攻の2年生と4年生では全員が「専門職として働く」としていた。(図24)

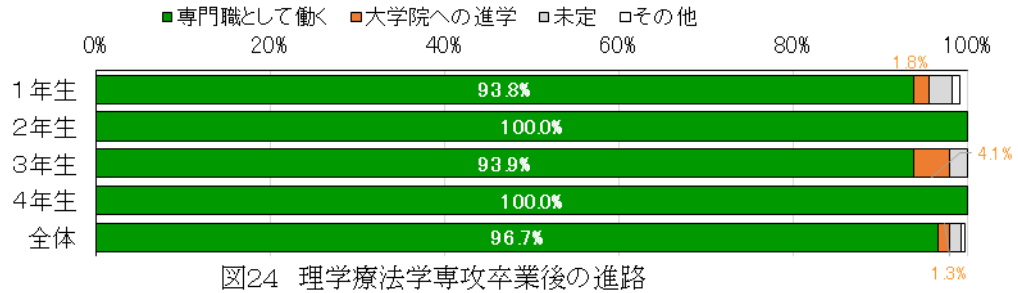


図24 理学療法学専攻卒業後の進路

構想大学院の設置予定時の入学対象となる3年生では、理学療法学専攻で2人が「大学院への進学」を卒業後の進路としていた。(図25)

1年生の中にも既に「大学院への進学」を卒業後の進路と定めている学生が作業療法学専攻で1人、看護学科で1人いた。(図26、図27)

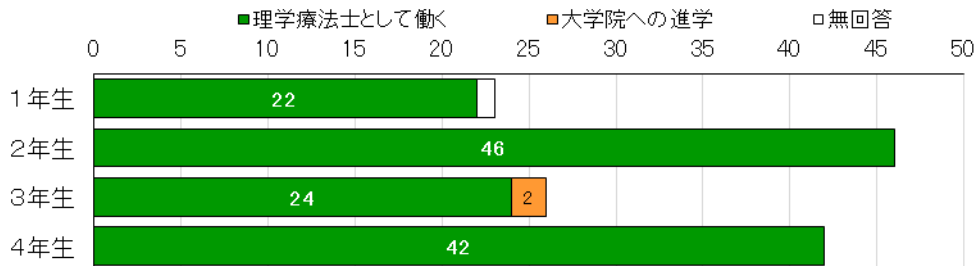


図25 理学療法学専攻卒業後の進路

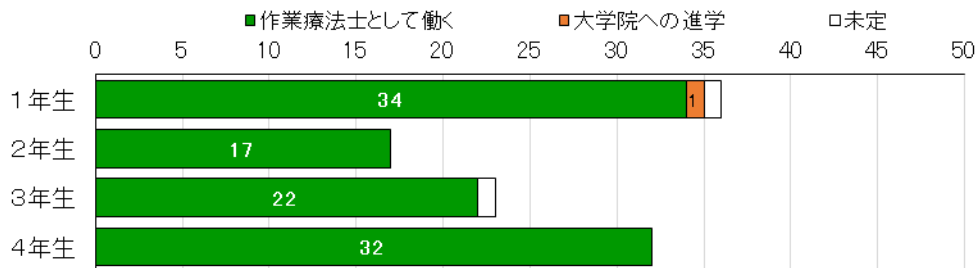


図26 作業療法専攻卒業後の進路

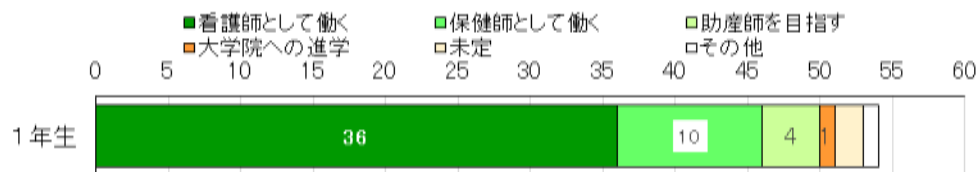


図27 看護学科卒業後の進路

イ 大学院への進学について

① 大学院の設置がこれからの保健医療福祉の発展と向上に有益であるかについて

本学が構想している大学院の設置が、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益であるかという質問に対して、「非常に有益だと思う」と「有益だと思う」という回答の合計は、全体で 226 人 75.6%であった。

「あまり思わない」という回答は、全体で 20.4%であり、1年生では 26.5%であるが学年が進行し4年生では 10.8%に低下するのに対して、「非常に有益だと思う」と「有益だと思う」という回答の合計は、学年進行とともに 69.0%から 82.4%に増加している。(図28)

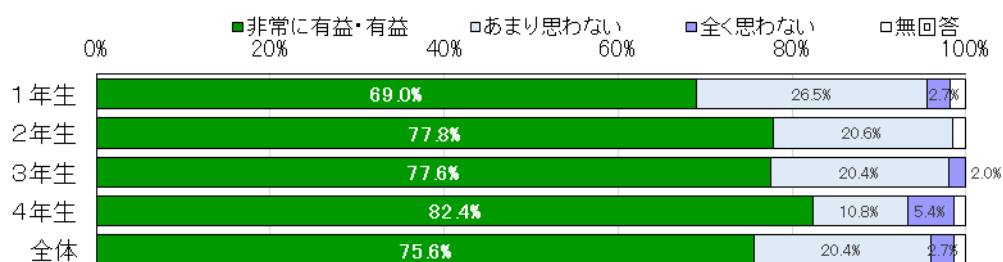


図28 学年別構想大学院の有益性

「非常に有益だと思う」と「有益だと思う」という回答の合計を学科・専攻別にみると、作業療法学専攻が最も高く 79.6%、次いで理学療法学専攻が 75.4%、看護学科が 73.6%、であった。(図29)

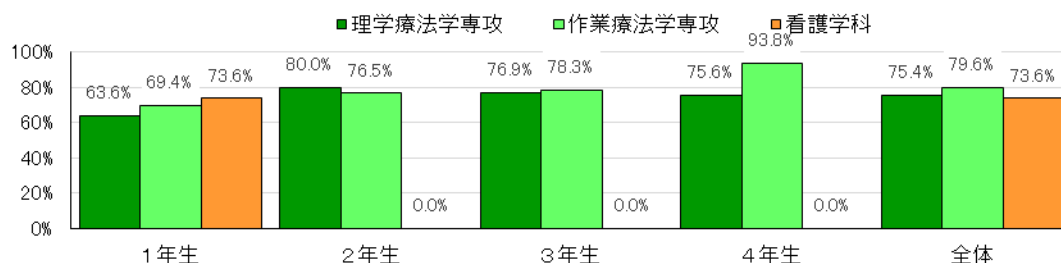


図29 学年別学科・専攻別に構想大学院の有益とする者の割合

「あまり有益と思わない」の者の割合は、学年進行により減少した。(図30)

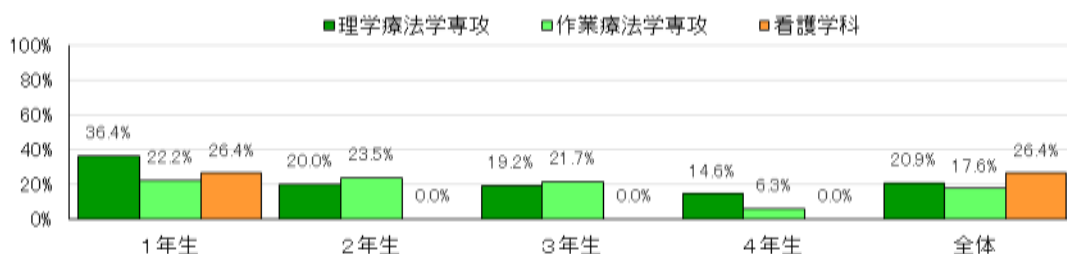


図30 学年別学科・専攻別に構想大学院をあまり有益と思わない者の割合

②長野保健医療大学に大学院（修士課程）を設置することについて

構想大学院（修士課程）の設置について、「分からない」が全体で 49.5%であるが、「ぜひ設置してほしい」と「できれば設置してほしい」の合計が 39.1%あった。

「設置の必要はない」という回答は、全体で 11.4%であるが、1年生の 14.2%から学年が進行することに伴い減少し、4年生では 9.5%に低下するのに対して、「ぜひ設置してほしい」と「できれば設置してほしい」という回答の合計は、学年が進行することに伴い 38.1%から 45.9%に増加している。（図 3 1）

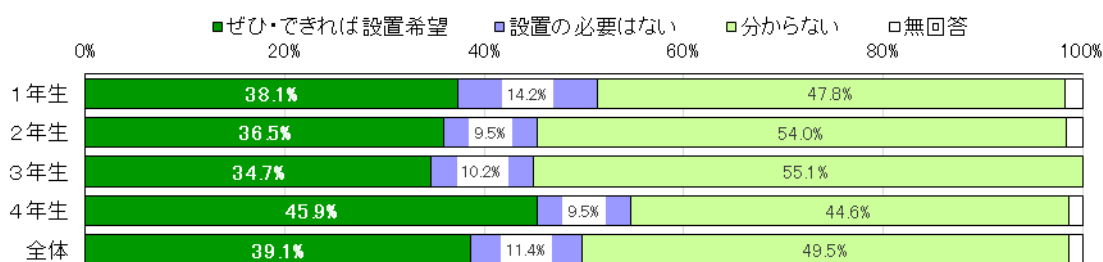


図31 学年別構想大学院の設置希望構成比

「ぜひ設置してほしい」と「できれば設置してほしい」の合計を学科・専攻別にみると、看護学科が最も高く 50.0%、次いで作業療法学専攻が 41.7%、理学療法学専攻が 32.8%となっている。（図 3 2）

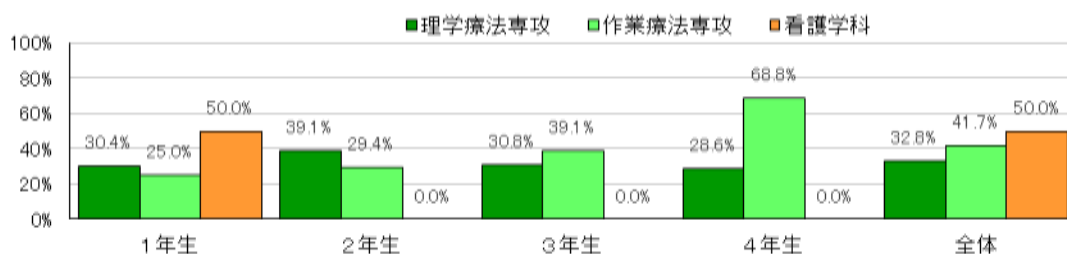


図32 学年別学科・専攻別構想大学院設置希望者の構成比

前述の大学院設置がこれからの保健医療福祉に有益であるかという質問と同様に、学年の進行に伴い学部での学修の深まりを受けて大学院の有益性や大学院設置の希望が増加する傾向にあると考えられるため、在学生に対する大学院への入学や大学院での学修・研究などについての情報提供が重要であることが分かった。

② 長野保健医療大が設置を計画している大学院（修士課程）への進学について
 本学が構想している大学院（修士課程）への進学について、「大学院に進学したい」、
 「進学に関心がある」及び「条件が整えば進学したい」と回答した者の合計は、61人
 であった。（表3）

表3 学科・専攻別構想大学院への進学意向

学科 専攻	回答	学年				全体
		1年生	2年生	3年生	4年生	
理学療法学専攻	大学院に進学したい A	1	0	3	1	5
	進学に関心がある B	1	3	3	2	9
	条件が整えば進学したい C	2	6	5	0	13
	今は、進学の予定はない	15	34	10	36	95
	分からない	4	3	5	3	15
	計	23	46	26	42	137
	【再掲】A+B+C	4	9	11	3	27
作業療法学専攻	大学院に進学したい A	0	0	0	0	0
	進学に関心がある B	1	1	3	2	7
	条件が整えば進学したい C	3	0	3	7	13
	今は、進学の予定はない	23	13	15	22	73
	分からない	9	3	2	1	15
	計	36	17	23	32	108
	【再掲】A+B+C	4	1	6	9	20
看護学科	大学院に進学したい A	0	0	0	0	0
	進学に関心がある B	4	0	0	0	4
	条件が整えば進学したい C	10	0	0	0	10
	今は、進学の予定はない	36	0	0	0	36
	分からない	4	0	0	0	4
	計	54	0	0	0	54
	【再掲】A+B+C	14	0	0	0	14
計	大学院に進学したい A	1	0	3	1	5
	進学に関心がある B	6	4	6	4	20
	条件が整えば進学したい C	15	6	8	7	36
	今は、進学の予定はない	74	47	25	58	204
	分からない	17	6	7	4	34
	計	113	63	49	74	299
	【再掲】A+B+C	22	10	17	12	61

「大学院に進学したい」及び「進学に関心がある」と回答した者の合計は、25人であり、「進学したい」と回答した者は5人であった。

構想大学院の開設予定時に入学対象となる3年生では、「大学院に進学したい」、「進学に関心がある」及び「条件が整えば進学したい」と回答し現時点で大学院への進学を考えている者の合計は17人であった。「大学院に進学したい」と回答した者が3人、「進学に関心がある」と回答した者が6人、「条件が整えば進学したい」と回答した者が8人という内訳である。理学療法学専攻で大学院の進学を考えている者が11人であり、「大学院に進学したい」と回答した者が3人であった。

④自分の将来展望について（複数回答可）

在学生在現在持っている自分自身の将来展望については、「幅広い知識を習得し、専門性を高めたい」が 44.5%で最も多く、次いで「臨床現場で管理職に就きたい」が 43.1%であった。

構想大学院の設置予定時に入学対象となる3年生では、「臨床現場で管理職に就きたい」が最も多く 51.0%、次いで「幅広い知識を習得し、専門性を高めたい」が 44.9%であった。（図33）

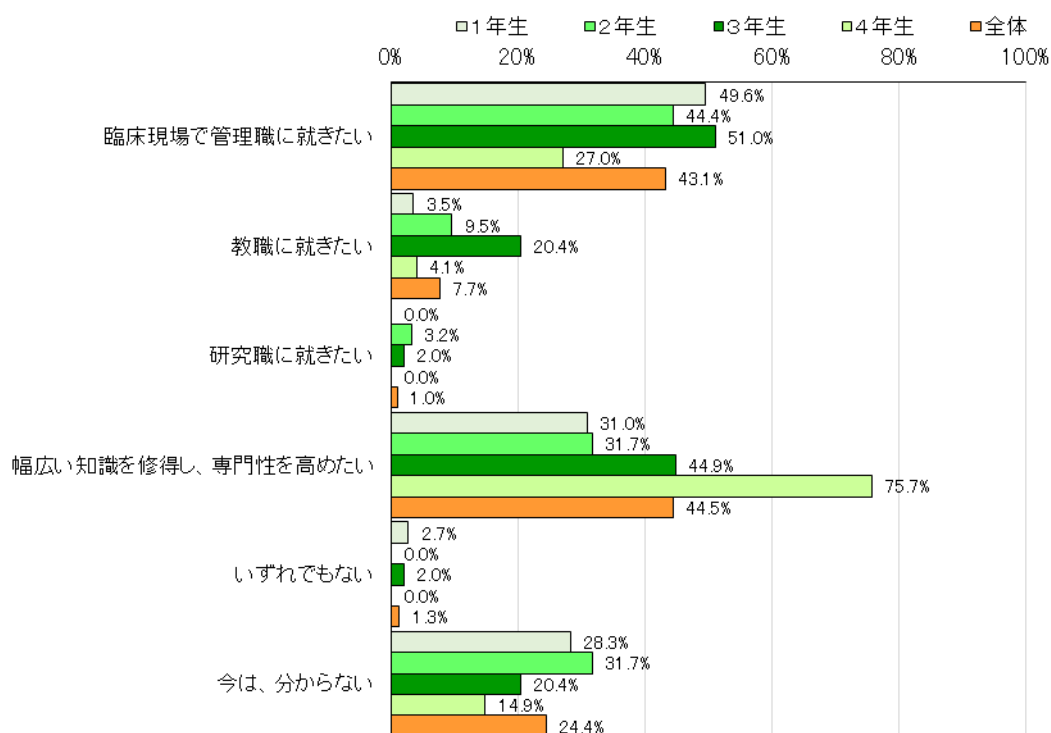


図33 将来展望構成比(複数回答)

3年生で、構想大学院への入学を希望している者3人についてみると、「臨床現場で管理職に就きたい」と「教職に就きたい」を選択した者が2人、「臨床現場で管理職に就きたい」を選択した者が1人となっている。

⑤大学院修士課程への進学時期

構想大学院も含めた大学院への進学時期については、「学部卒業後ただちに進学」が 23 人、「医療従事者として実務経験を積んだのちに進学」が 32 人、「大学院修士課程への進学は考えていない」が 98 人、「今は分からない」が 144 人であった。（表 4）

構想大学院の設置予定時に入学対象となる 3 年生では、「学部卒業後ただちに進学」が 4 人、「医療従事者として実務経験を積んだのちに進学」が 9 人、「大学院修士課程への進学は考えていない」が 9 人、「今は分からない」が 27 人であった。

表4 学科・専攻別進学時期別学年別回答者数

学科 専攻	回答	学年				計
		1年生	2年生	3年生	4年生	
理学療 法学専 攻	学部卒業後ただちに進学 A	3	4	3	1	11
	医療従事者として実務経験を積んだ後に進学 B	0	4	4	4	12
	大学院修士課程への進学は考えていない	8	7	5	16	36
	今は、分からない	12	31	14	20	77
	無回答	0	0	0	1	1
	計	23	46	26	42	137
	【再掲】A+B	3	8	7	5	23
作業療 法学専 攻	学部卒業後ただちに進学 A	2	1	1	2	6
	医療従事者として実務経験を積んだ後に進学 B	3	2	5	5	15
	大学院修士課程への進学は考えていない	15	5	4	12	36
	今は、分からない	16	8	13	13	50
	無回答	0	1	0	0	1
	計	36	17	23	32	108
	【再掲】A+B	5	3	6	7	21
看護学 科	学部卒業後ただちに進学 A	6	-	-	-	6
	医療従事者として実務経験を積んだ後に進学 B	5	-	-	-	5
	大学院修士課程への進学は考えていない	26	-	-	-	26
	今は、分からない	17	-	-	-	17
	無回答	0	-	-	-	0
	計	54	-	-	-	54
	【再掲】A+B	11	-	-	-	11
計	学部卒業後ただちに進学 A	11	5	4	3	23
	医療従事者として実務経験を積んだ後に進学 B	8	6	9	9	32
	大学院修士課程への進学は考えていない	49	12	9	28	98
	今は、分からない	45	39	27	33	144
	無回答	0	1	0	1	2
	計	113	63	49	74	299
	【再掲】A+B	19	11	13	12	55

3 年生で「学部卒業後ただちに進学」と回答した者は、理学療法学専攻で 3 人、作業療法学専攻で 1 人であった。

3年生で大学院への進学時期について「学部卒業後ただちに進学したい」と回答した者のうち、構想大学院に「進学したい」と回答した者は2人、「本学が構想している大学院への進学に関心がある」と回答した者が1人、「分からない」と回答した者が1人であった。(表5)

3年生で「医療従事者として実務経験を積んだ後に進学したい」と回答した者のうち、構想大学院に「進学したい」と回答した者が1人、構想大学院への「進学に関心がある」と回答した者が3人、「条件が合えば進学したい」と回答した者が3人であり、合計7人が実務経験を積んだ後に大学院への進学を考えている。

表5 3年生の進学時期別進学意向別回答者数

3年生		進学したい A	進学に関心がある B	条件が合えば 進学したい C	今は、進学の 予定はない	分からない	計	A+B+C	
学部卒業後ただちに進学したい		2	1	0	0	1	4	3	10
医療従事者として実務経験を積んだ後に進学したい		1	3	3	2	0	9	7	
大学院修士課程への進学は考えていない		0	0	1	7	1	9	1	7
今は、分からない		0	2	4	16	5	27	6	
無回答		0	0	0	0	0	0	0	
計		3	6	8	25	7	49	17	
卒業後の 進路	大学院への進学	1	1	0	0	0	2	2	
	理学療法士として働く	2	2	5	10	5	24	9	

構想大学院への進学意向や進学時期についての回答でもわかるとおり、開設予定時だけでなく、実務経験を積んだ後の進学者についても継続的に確保できる見込みである。

⑥学修環境（複数回答）

大学院修士課程への進学やキャリア形成に必要な制度等については、「今は分からない」を除くと、「長期履修制度」が35.5%、「奨学金制度」が28.1%、「昼夜開講制度」が26.8%、「修了後の就職支援」が21.7%、「集中履修制度」が11.4%の順となっている。（図34）

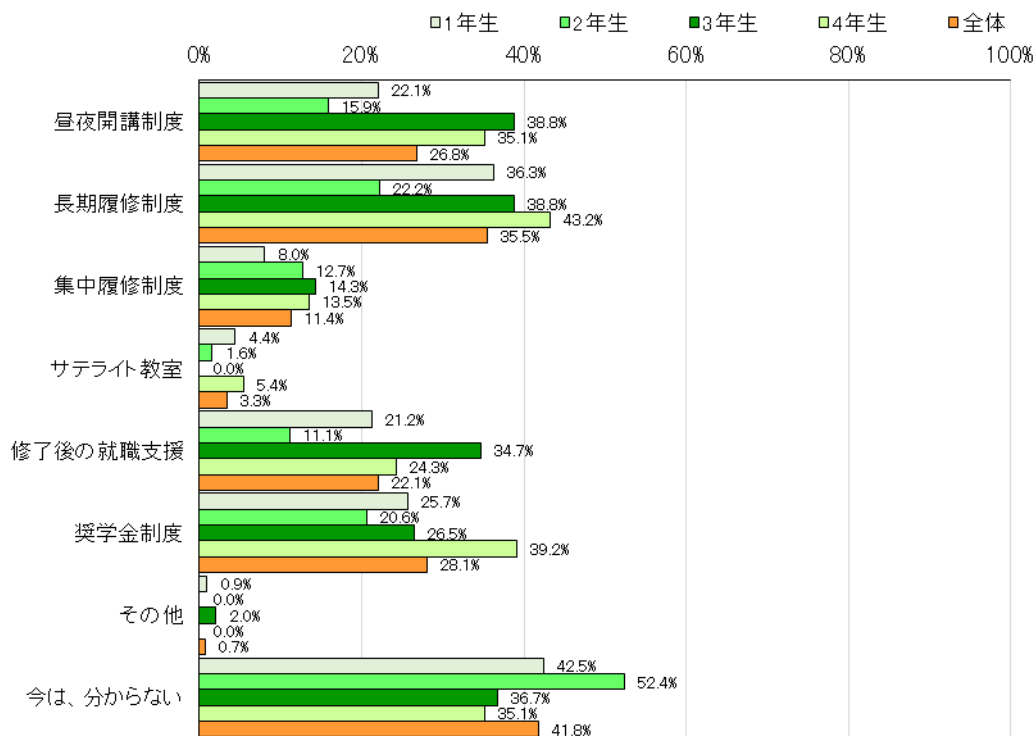


図34 望む学修環境（複数回答）

(3) アンケートに記載された意見・要望

①医療従事者アンケートに記載された意見・要望

【進学意向】本学が計画中の大学院に進学したい。

- 理学療法士
 - ・松本には信州大学、この構想は東信地域の人に有益。
 - ・理学療法教育に大変興味がある。
 - ・社会のニーズ・職域が多様化している/社会に発信する力を養いたい。
 - ・学費を低額にしてほしい。
- 作業療法士
 - ・WebやITを活用した授業・研究できれば進学したい。
- 看護師
 - ・働きながら大学院に進学できると大学院で学ぶ気持ちが強くなる。
 - ・生涯学べる環境が病院近くにあるとありがたい。
 - ・入試の内容や学費、カリキュラム、卒業要件を知りたい。
 - ・働きながら学べる環境を切望する。
 - ・修士課程に進学したいという希望がある。
 - ・大学院に入学できるか入学してもついていけるか躊躇いがある。
 - ・若い人には学べる場が増えることは大変良いこと。
 - ・職場内で働きながら学ぶ体制が不明確。
 - ・サテライトで近くで学べる環境があると学べる。
 - ・地域が変わると考え方も変わり多様化するので学修環境がよくなる。
- 保健師
 - ・学費が安くなれば良い。

【進学意向】本学が計画中の大学院への進学を優先するが、他大学大学院への進学も検討する。

- 理学療法士
 - ・国の補助金、無利子の奨学金等の支援がほしい。
 - ・研究設備の充実、他大学との連携・共同研究、企業との連携があると魅力的
- 作業療法士
 - ・とても有益なことと思います。定員を増やすようお願いします。
- 看護師
 - ・有名な教授がいると目指しやすい。
 - ・仕事に通いながら学習できる環境があるとよい。
 - ・専門性を深めるカリキュラム、他と違うカリキュラムがあると魅力的。
 - ・奨学金制度があるとよい。
 - ・具体的な教育の特長を知りたい。
 - ・週1回の通学で長期に通えればよい。

【進学意向】他大学大学院への進学を考えている。

- 理学療法士
 - ・大学院進学の特典の方が大きい。
 - ・来春から他大学の大学院に進学する。
 - ・運動学や生理学、神経生理学など人体の基礎の分野があると選択肢に上がる。
- 看護師
 - ・保健師の受験資格を得られるのか。
 - ・eラーニング。
 - ・専門看護師の資格取得ができればよい。
 - ・働きながら学べる環境があれば非常に進学を考えやすくなる。

- ・すごく年を取った教授はいらないと思う。
- ・大学院進学のための環境を整えることが大事。
- ・今後専門看護師、特定看護師を学べるところが県内にあると選択肢が広がる。
- ・現在管理職だが、働きながら学べる環境、一部通信制など多様な方法があれば進学の実現性が高くなる。
- ・様々な分野で開講できるよう望む。
- ・特定行為を含む大学院のニーズが高いと思う。

○保健師

- ・看護系ではなく社会学系の大学院に進みたい。
- ・医療社会学でも良いので県内に学べる場がほしい。

【進学意向】今は、大学院進学を考えていない

○理学療法士

- ・在任の教授の論文数が多い信大の大学院がある中で、保健大学に大学院を設置するメリットがあまり感じられません。大学院入学後にまともな指導を受けられないといった話をよく聞くので、まず在任の先生方のキャリア（論文数など）を明確に提示する必要があると思います。
- ・療法士の養成校が増えてきており、その質自体の低下が生じています。底上げという観点では修士の設置は良いと思います。但し、貴校教員の研究成果はあまり知られておらず、研究機関としての質を高める努力が必要と思われます。
- ・長く臨床を行っている、なかなか自分の仕事の効果判定を客観的に分析すること（機会がない）ができないが、大学院で研究することでそういう時間をとれるのは有意義ではあると思う。生活もあるので金銭的に難しいが…。
- ・学部卒後の修士課程入学者とは別の枠組みで働きながら、大学院に通学できる環境は必須だと考えます。あとは学費があまり高くないこと。貴校を選ぶメリットが感じられない。
- ・工学的専攻や生理学、解剖学の専攻を求める。9. 教育の研究の特色で挙げられたテーマ、分野で将来の理学療法にどのような有益性があるのか不明瞭で必要性を感じない。
- ・問 5 にあるような就業継続できる制度と職場での昇格などの両制度があるとありがたいと感じます。また、長野市内にできるということは大きなメリットだと思います。
- ・どうしても教員によって専門分野が異なり、自分の希望する専門がないことが多い。他大学の教員の教室をサテライトとして開いても良いと思う。
- ・現状リハビリ職のキャリアで修士の有無は給与にかかわってこないことも多い。就労しつつ自己研鑽に取り組めるような環境にしてほしい。
- ・研究（部内）の充実をお願いします。（臨床しながら研究するだけの余裕、環境がない者も多いと思いますので）
- ・現在、働きながら大学院に行くことは信州大学しか選択肢はないが、時間的に困難なのでぜひ設置してほしい。
- ・修士終了後収入アップ等のメリットがあまり感じられない為、家族がいると入りたくても入れない。
- ・修士をとるメリットは何か。働きながら履修していくとして職場には何のメリットがあるのか。
- ・研究者としての進学は有益に思うが、医療現場にどのようにつながるかのイメージができない。
- ・PT 給与を考えると金額設定が厳しい。キャリアアップに関する制度の充実が重要。
- ・リカレント教育が注目されている。社会人が円滑に入学できる環境を堅めてほしい。
- ・リーダーシップとは何かといったところから探求できると興味わく。
- ・金銭的な問題、現職場との折り合いがつけられるシステムを求める。

- ・地域に根差した学際的な研究を進めていってほしい。
- ・自由参加な講義等で大学院の雰囲気を感じてみたい。
- ・臨床と研究がリハビリにおいて乖離している。
- ・もう少し授業料が安いとありがたいです。
- ・技術系の修士課程があってもいいと思う。
- ・働きながら履修できる環境が整うと良い。
- ・地元貢献に寄与できる場になると良い。
- ・具体的なカリキュラムが気になる。
- ・子供が小さい女性には難しい。
- ・博士課程を設置してほしい。
- ・説明会をしてほしい。

○作業療法士

- ・進学を希望しても、今の状況ですとサポート（職場や生活の）がほぼなく（確立されておらず）両立しながらの進学はなかなか難しいと思います。とても大切なことではあると思いますが、皆ができるようになるにはまだ環境が整備されていないように思います。
- ・人口減少、少子化の中で私学が大学院を設置することは学生の奪い合い、ひいては技術・知識の希釈化につながるのではと危惧しております。療法士のキャリア化が対象者の幸福に真につながるか、今一度ご検討をお願い致します。
- ・今以上に、地域に必要とされる作業療法士を育てていくためにも、作業療法士とは何か、どんなことをしているのかを知ってもらい、必要としてもらうことは今後大事であり、そのためにも設置は望ましいと考える。
- ・現在職場での差別化がされていない。今後そのような見通しがあるのか。広く周知し職場への理解を求める、対策を講じていく手立てが必要。
- ・意欲はあっても、365日体制の病院、施設が多い中、学修と職とのバランスが難しい。とくに子育て中のママさん。
- ・職業のリーダーとなる人が増えるのを望む。全体的にレベルが向上するよう、目を向けてくれる人材が育つことを望む。
- ・作業療法の発展のため、治療に対する研究や地域へつなげる場となってほしいと思います。
- ・世間一般、東京都の主要大学と同程度のものがいいと思います。すべてにおいて。
- ・卒業後その知識をどう活かせるのか、今後の活躍の場はどこか。
- ・大学院で学んだ内容が臨床で活かされると有益かと思えます。
- ・家庭との両立が難しい。予算や時間の使い方で躊躇する。
- ・自動車免許の適正などOTが専門的にかかわりたい。
- ・OT,PTの専門性の向上、学生育成、職域の拡大。
- ・教職への道をつくってほしい。
- ・昇給に反映されにくい。

○看護師

- ・大学を卒業していない看護師割合がまだ多い現在ですので、大学、大学院での学びがイメージできない人達も多いのではないのでしょうか？近くで学べる環境が整いつつあるのでこれからの若い人や学習意欲のある人たちには、ぜひチャレンジしてほしいと願いますが、もう少しイメージしやすいアピールを検討していただくと良い。
- ・人員不足で現場を離れて進学は考えられない。こういった問題も考えるのが大学院なのかもしれないが、論文をまとめて理論を学んでもそれを現場で生かされない。現場の想いと状況が乖離している。現場の気持ちが分かる人材を育成できる大学院を作ってほしい。
- ・当院にはNsが出入りするような場所にパンフレットが設置されていますが、個人

的にパンフレットだけで「修士をとりに行こう」という気持ちにはならないと思う。説明会などを設けて魅力を伝えてもらえると検討する者もいるのではないかと考えます。

- 大学院修士課程希望する人の数は多いのでしょうか。まわりを見まわすと、認定や専門ナースを攻める声の方が大きいような気がします。様々な分野はあると思いますが、他の大学との共存を大事に考えていく必要を感じます。
- 一度勤務してしまうと私生活や勤務状況によって大学院に通うことは難しいような気もしますがキャリア up のためには間4のような制度があれば進学しやすいかもしれません。それには当院上席の理解も必要かなと思います。
- 看護管理、看護教育の分野の設置を希望します。大学院ではないですか？看護管理者研修サードレベルのコースの設置を希望します。医療経営（MBA）コースがあれば、大学院の進学を検討したいと考えております。
- 上伊那地域には正看護師養成所が少なく、看護師人口が少ない。そのため県全体の養成所の把握と体制の充実、人材確保を優先してほしい。そのうえでのキャリア形成として大学院があると思う。医療、福祉の現場では人材確保、現場でのスキルアップを求めるのが現状。
- 就職してから大学院を目指すのはなかなか難しいところがある。日々の忙しさ、家計の面でも支えてくれるものがあれば学生も目標を持ち、より良い看護に向けられるのではないかと思います。
- 自施設で修士を生かせる環境、生かしている職場などがあると目指しやすいなと思います。大学院の設置だけでなく、臨床で活躍できるような働きかけも今後お願いします。
- しっかり学習されたほうがきちんと職場内に反映できるよう、学習した後それが生かせる職場づくり、周りの協力体制が必要。それがなければ意味はないと思う。
- 経済的な余裕があれば集中でも良いと思うが、若い人が通うならば費用がかかる。学費が安いと良い。寮や安いアパートなどの斡旋も考慮したら良いと思う。
- 職場は人員不足で進学を考えている余裕はない。大学院を卒業したからといって生かせないと話にならないので、仕事のできる人材を育成してほしい。
- 身体面、精神面、経済面を考えると難しい。職場、家族の理解がないと難しい。これからの少子高齢化社会を研究して役立ててほしい。
- 一度就職してからの大学院進学はよほど志が高くないとむずかしいが、環境が整っていれば希望する方はいるのが現状だと思います。
- がん看護の分野で診断～緩和までのコミュニケーション能力を養う遺伝子分野からの治療戦略があるといってみたいと思います。
- 大学卒の人が増える中、まだまだ色々な就学過程の人がいるため、地方の病院では必要とする人材が集まりにくくなる一方。
- 職場を休んで大学院へ行っても途中でやめてしまう人がいる。何のために行ったのか協力したのかわからないことも多い。
- 教員の質の問題。大学院教育に対応できる教員がどれだけ確保できるか。そうでなければ看護学全体の質の低下を招く。
- 修士をとることを支援してくれる職場でないと休日がなくなる。大学院の支援だけでなく、職場の支援も必要。
- 医師不足のため医師に変わって指示を出せるキャリアナースの教育を進めたほうが良い。
- 学位をもたない人が進学するハードルが高い。それを踏まえた環境整備をしてほしい。
- 興味はあるが、具体的なスケジュール、学費が明示されないと検討できない。
- 現場での判断力、コミュニケーション能力も同時に学べるシステムづくり。
- 仕事との両立が難しい。周りの環境も変えていく必要がある。

- ・卒業後の活躍の場が保証されていれば目指すことも増える。
- ・家庭環境、経済面で心配ないスケジュールが組めるなら良い。
- ・長期での履修できる制度をより長期化されることを望む。
- ・身近に大学院があるのはありがたいと思います。
- ・受験資格を「ゆるく」していただきたいです。
- ・管理や教員になるための勉強ができるとよい。
- ・働きながら学べることができればありがたい。
- ・実際のところ勤務しながらは難しい。
- ・学費の減免制度があるとありがたい。
- ・行きたくても行けない現状がある。
- ・組織管理のできる人材を求める。
- ・娘にキャリアアップすすめたい。
- ・学費のことが気がかり。
- ・専門看護師の過程。

広告次第

○保健師

- ・～の専門性を高めるといった抽象的なものより即物的に勤務先や所属先で評価されるものが現実的に求められると感じる。勤務先・所属先において利点があると認識されれば制度も設けられる。(資格取得や保険点数に反映されるものが得られるなど)勤務しながらを想定すると、上記は進学の後押しとなる。そのあたりも具体的にあればアピールとしては魅力的になる。応援しています。頑張ってください。
- ・現場で生かしづらいのでそこまで進学を希望していない。保健師の院生や院卒の方が実習等で現場へ来られるが保健師現場で参考程度に留まるように思う。多忙であり実践が難しいのが現状です。
- ・助産師の資格が取得できる課程を設けていただければと思う。現場ではNs, PHNの資格はあっても、助産師はなかなかいないので、助産師養成課程があるといい。
- ・地域医療の発展に寄与できる内容での大学院設置により、地域の現場を共同に研究・検討が出来ることを希望します。(自らの進学の意向とは異なりますが)
- ・比較的近隣に設置されることは喜ばしいことと思います。身近な地域の問題、課題等に目を向けて学習して論文などに活かさせていただけるとありがたい。
- ・自治体保健師として働いている中で、大学院で学ぶとどのようなことが現場で生かされるのか知ることが一歩目。
- ・自分の知識不足と思いますが、大学院で学ぶことで地域にどのように貢献できるかわからないです。
- ・実際の現場でどう生かせるかが大切。リーダーとなりえるような人材を育成してほしい。
- ・職場での休職を認められれば行きたい。大学院で学んだものを生かす場が欲しい。
- ・修了後の就職支援はあるか。博士課程が設置されれば検討したい。
- ・金銭的な問題、授業料免除や勤務しながら通うこと。
- ・Ⅱ.問2について他の分野を学んでみたい。
- ・時間さえあれば興味あり。
- ・イメージがつかない。

【進学意向】分からない

○理学療法士

- ・働きながら履修できれば良いが、残業等で夜間の講義に間に合わない場合の対応も柔軟にいただけると前向きに検討できる。
- ・大学院を選択するポイントは、指導側(者)の専門分野と、その領域での実績がどの程度あるのかが気になります。
- ・県外出身者が多く入学し県外に就職してしまえば、県内の保健医療を発展充実には

結びつかない。

- ・より理学療法士、作業療法士に特化した内容のほうが良いと思うが…。
- ・頭ばかりでなく技術をしっかりさせてほしい。
- ・リハビリチームに関する内容を！。
- ・信大にあるし、必要ないのでは。
- ・アンケートの内容がおかしい。
- ・仕事しながらは難しい。

○作業療法士

- ・医専卒の優秀な方が長野県内にはたくさんいます。給与面で実力があるのに大卒の人と差をつけられて悔しい思いをしている人も少なからずいると推測しています。その方々のためにも、卒業生には、学費や入学面で優遇するなど配慮してもらい、多くの人が入学できる体制を作ってください。期待しています！！ 中島先生がいるので、高次脳機能障害の研究分野についてもゼミができるといいなと期待しています。
- ・元々、長野の出身ではないため、(一度大学院への進学を考えたこともありました) 調べてみたところ、大学院が少ないことに驚いたことがあります。長野に住みながら、通えるということは、進学を考えている人にとって、ハードルが下がって、とても良いことだと思います。是非、大学院を設置して頂ければと思います。
- ・現在県内では信州大学のみなので新しく設置されることは通学面で便利になる人もいると思う。勤務をしている中で通えるというシステムはやはりありがたい。
- ・必要なことだと思います。

○看護師

- ・看護師の人数が少なく、大学院への進学を考えていても、希望通りにはなかなかいかないと思う。家庭を持ち、自分の時間が取れなくても進学したいと考える方はいると思うので、そういった支援を充実させてほしい
- ・北信地域で修士課程が受けられるのは良いと思います。また、今後、医療、福祉の分野で、管理に対するニーズは高まるし、高めていかないといけないと感じています。
- ・働いていても編入できるような環境があればもっと学びたいと思う人にとってはありがたいと思う。奨学金制度や休職中の職員にも対応できるような制度になると良い。
- ・机上論でなく現場の流動的な仕事に対応できる、分析や問題解決方法を提案・実践できる人材、総合的判断ができる人材育成のカリキュラムをもちこんでほしい。
- ・将来認定看護師過程など県内で専門的なことが学べる場をお願いしたい。
- ・働きながら学習できれば、金銭面の心配も少なくて良いと思います。
- ・県内の人を優先してほしい。社会人でも学びやすい環境が欲しい。
- ・コミュニケーションスキルも学ぶ必要があると思う。
- ・キャリアアップの場として良い。
- ・若い子供がいる。

○保健師

- ・大学卒業後は臨床などの現場で自分ほどの分野の勉強を深めたいか、研究したいかが大切だと感じた。現在職場での理解があまりなく、大学病院等のほうが働きながら進学しやすい。
- ・現在保健師養成も大学となり、実習期間が短いと思う。大学院では地域の人々と触れ合う、生活を観る要素などあると良い。
- ・研究職の本質を変えるものにして欲しい。
- ・業務に追われ学びたいが難しい。

○助産師

- ・働きながら、子育てをしながらでも、経済的にも、身体的にも負担が少なく、大学院に通うことができれば考えたいと思っています。

【進学意向】無回答

- 理学療法士
信大もあるので必要性を感じない。
- 看護師
 - ・魅力ある先生の配置、学費を安くしてほしい。
 - ・研究能力の高い教員がおられましたら進学を考えているナースに薦めたい。
- 保健師
 - ・修学者の目指すところと学校が目指す医療職像をマッチさせることが大切。特に県内就職を目指すかどうかなど。
- その他
 - ・健康推進部門での特定健診には業務としての魅力を感じない。

②在学生アンケートに記載された意見・要望

【進学意向別学科・専攻別】

【進学意向】大学院への進学に関心がある

- 作業療法学専攻
 - ・大学院について興味があるのでもっと詳しく知れる機会がほしいです。

【進学意向】条件が合えば進学したい

- 作業療法学専攻
 - ・定員の増加、教員になれるみたいなの。
- 看護学科
 - ・助産師課程もご検討頂きたいです。
 - ・助産師国家試験受験資格をとれるのならば進学したいと考えています。

【進学意向】今は、進学の手配はない

- 作業療法学専攻
 - ・奨学金制度があれば入学希望者が出ると思う。
- 看護学科
 - ・正直、大学院を作るのではなく、チーム医療がより充実できるように厳しいとは思いますが、他学部を作った方がいいのでは…と思います。薬学や医学と将来連携できるように薬学と医学の学部を作ってほしいな…と個人的に思います。将来的に知名と規模が大きい大学になってくれたら幸いです。

【進学意向】分からない

- 理学療法学専攻
 - ・院生と在学生につながりがあれば有益だと思います。
- 作業療法学専攻
 - ・大学院設置に向け大学の授業料は上げないでほしい。

調 査 票

※ この資料は公表を前提としているため、依頼文の担当者名は伏字とした。

令和元年（2019年）年11月29日

（長野県内の医療機関、県保健所、長野市保健所、市町村保健センター）

保健師・助産師・看護師・理学療法士・作業療法士の皆様

長野保健医療大学

学長 岩谷 力 [公印省略]

大学院構想に係るアンケート調査のお願い

時下、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本学の教育につきましてご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、長野保健医療大学では、地域での保健医療を一層充実させるために、新たな人材育成のあり方として令和3年度(2021年度)開設を目途に大学院の設置を構想しています。構想中の大学院の概要は、裏面のとおりです。大学院設置に向けて、進学意向に関する調査を実施することといたしました。

臨床現場における管理的立場を目指す方、保健医療福祉の幅広い知識を修得し専門性を高めたい方、将来大学教員や研究者を目指す方の入学を想定しています。大学院発足当初は修士課程のみであり、修業年限は2年間となります。現在のお勤めと両立するようなカリキュラム編成と授業の時間帯とする計画です。

また、平成10年（1998年）に学校教育法が改正され、「大学卒業者と同等以上の学力があると認められた者」に大学院入学資格が認められるようになりました。これにより、専門学校や短期大学の卒業生も、看護職やリハビリテーション職等のキャリアや研究課題があれば大学院に進学できるようになりました。

つきましては、保健師・助産師・看護師・理学療法士・作業療法士の皆様を対象としたアンケート調査にご協力をいただければ幸いです。ご多用中のところ恐縮ですが、別紙2のアンケート調査回答票に記入の上、返信用封筒により 12月23日（月）までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

アンケート調査の結果は大学院設置に関すること以外に使用することはありません。また、無記名で記入していただき、データも全体をまとめて統計的にのみ処理いたしますので、皆様の個人情報外部に漏れることは一切ありません。

問い合わせ先

〒381-2227 長野市川中島町今井原 11-1

長野保健医療大学

地域保健医療研究センター

センター長 □□ □□

□□ □□

電話：026-283-6111

大学院設置構想の概要

- 1 名 称 長野保健医療大学大学院
「保健学研究科保健学専攻修士課程（仮称）」
- 2 設置の理念、養成する人物像
本学の「徳風四海に洽（あまね）く」及び「仁心妙術」という教育理念に基づき、地域で活躍する高い倫理観と豊かな人間性を備え、卓越した専門性と確かな実践力を持つ保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士などの高度専門職業人として、専門分野において保健医療福祉の実践・発展に貢献できる人材、今後さらに重要性が増す保健医療福祉の研究者・教育者となる人材の養成を目指します。
- 3 開設時期 令和3年4月1日（予定）
- 4 開設場所 長野保健医療大学 （長野市川中島町今井原 11-1）
- 5 修業年限 2年
- 6 入学定員 入学定員 8名（収容定員 16名）
- 7 取得学位 修士（保健学）
- 8 学生納付金（例） 入学金 20万円、授業料 90万円
- 9 教育研究の特色
 - ・ケア提供システム分野・・・制度、政策、組織管理を学修し、臨床現場におけるリーダーシップやマネジメントについて探求します。
 - ・人間発達ケア分野・・・妊娠、出産、小児期から高齢期までの人生の発達過程の中で迎える課題について、看護・リハビリテーションの観点から学修します。
 - ・健康コミュニティー分野・・・コミュニティーの特性や健康課題の理解、協働による支援に必要な理論と方法論を学修し、地域における健康支援の在り方を探求します。

※上記の内容は構想中であり、今後内容などを変更する場合があります。

令和元年（2019年）11月29日

（本学在学学生）

長野保健医療大学の学生の皆さん

長野保健医療大学

学長 岩谷 力 [公印省略]

大学院構想に係るアンケート調査のお願い

時下、学生の皆さんはそれぞれの目標に向かって励んでおられることと思います。

さて、長野保健医療大学では、地域での保健医療を一層充実させるために、新たな人材育成のあり方として令和3年度（2021年度）開設を目指した大学院の設置を構想しています。

構想中の大学院の概要は、裏面のとおりです。臨床現場における管理的立場を目指す方、保健医療福祉の幅広い知識を修得し専門性を高めたい方、将来大学教員や研究者を目指す方の入学を想定しています。大学院発足当初は修士課程のみであり、修業年限は2年間となります。

つきましては、本学に在学する学生の皆様を対象としたアンケート調査にご協力いただければ幸いです。ご多用中のところ恐れ入りますが、別紙3アンケート調査回答票に記入し返信用封筒により 12月23日（月）までに本館事務室・南館事務室前の回収箱に投函してください。

アンケート調査の結果は大学院設置に関する以外に使用することはありません。また、無記名で記入していただき、データも全体をまとめて統計的にのみ処理いたしますので、皆さんの個人情報外部に漏れることは一切ありません。

問い合わせ先

〒381-2227 長野市川中島町今井原 11-1

長野保健医療大学

地域保健医療研究センター

センター長

電話：026-283-6111

大学院設置構想の概要

- 1 名 称 長野保健医療大学大学院
「保健学研究科保健学専攻修士課程（仮称）」
- 2 設置の理念、養成する人物像
本学の「徳風四海に洽（あまね）く」及び「仁心妙術」という教育理念に基づき、地域で活躍する高い倫理観と豊かな人間性を備え、卓越した専門性と確かな実践力を持つ保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士などの高度専門職業人として、専門分野において保健医療福祉の実践・発展に貢献できる人材、今後さらに重要性が増す保健医療福祉の研究者・教育者となる人材の養成を目指します。
- 3 開設時期 令和3年4月1日（予定）
- 4 開設場所 長野保健医療大学 （長野市川中島町今井原 11-1）
- 5 修業年限 2年
- 6 入学定員 入学定員 8名（収容定員 16名）
- 7 取得学位 修士（保健学）
- 8 学生納付金（例） 入学金 20万円、授業料 90万円
- 9 教育研究の特色
 - ・ケア提供システム分野・・・制度、政策、組織管理を学修し、臨床現場におけるリーダーシップやマネジメントについて探求します。
 - ・人間発達ケア分野・・・妊娠、出産、小児期から高齢期までの人生の発達過程の中で迎える課題について、看護・リハビリテーションの観点から学修します。
 - ・健康コミュニティー分野・・・コミュニティーの特性や健康課題の理解、協働による支援に必要な理論と方法論を学修し、地域における健康支援の在り方を探求します。

※上記の内容は構想中であり、今後内容などを変更する場合があります。

【本学学生の皆さん対象】 (別紙3)
長野保健医療大学 大学院設置に関するアンケート調査回答票

I. あなたご自身についてお尋ねします。

問1 性別について、当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 男性 2 女性

問2 学年について、当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 1年生 2 2年生 3 3年生 4 4年生

問3 在籍する学科・専攻について、当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 理学療法学専攻 2 作業療法学専攻 3 看護学科

問4 現在お住まいの地域をお答えください。

- 1 長野地域 (千曲市含む) 2 中野・飯山地域 3 上田・小県地域
4 佐久地域 5 松本・大北地域 6 諏訪・伊那・飯田地域
7 その他 (市町村)

問5 卒業後の進路について、当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 理学療法士として働く 2 作業療法士療法士として働く
3 看護師として働く 4 保健師として働く
5 助産師を目指す 6 大学院への進学
7 未定 8 その他 ()

II. 長野保健医療大学が設置する大学院への進学についてお尋ねします。当てはまる番号ひとつに○をつけてください。

問1 長野保健医療大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思いますか。

- 1 非常に有益だと思う 2 有益だと思う
3 あまり思わない 4 まったく有益だとは思わない

問2 長野保健医療大学大学院 (修士課程) の設置について、どう思いますか。

- 1 ぜひ設置してほしい 2 できれば設置してほしい
3 設置の必要はない 4 分からない

問3 長野保健医療大学大学院を設置した場合、進学したいと思いますか。

- 1 進学したい 2 進学に関心がある 3 条件が合えば進学したい
4 今は、進学の手配はない 5 分からない

裏面もお願いします。

近隣の保健医療系大学院の授業料等の状況

大学院名称	研究科・専攻	大学院の状況								大学の状況						授業料 大学院/大学	
		定員	入学金	授業料	実習費	施設費	その他	初年度計	2年度	入学金	授業料	実習費	施設費	その他	初年度計		2年度以降
群馬パース大学大学院 [群馬県・私立]	保健科学研究学科保健科学専攻 [博士前期課程]	8	100,000	950,000				1,050,000	950,000	150,000	1,400,000				1,550,000	1,650,000	67.9%
高崎健康福祉大学大学院 [群馬県・私立]	保健医療学研究科看護学専攻 [修士課程]	6	100,000	700,000	200,000	200,000		1,200,000	1,100,000	280,000	900,000	200,000	300,000	30,370	1,710,370	1,400,000	77.8%
国際医療福祉大学大学院 [栃木県・私立]	医療福祉学研究科保健医療学専攻 [修士課程]	15	300,000	800,000		200,000		1,300,000	1,000,000	300,000	900,000	50,000	350,000		1,600,000	1,500,000	88.9%
獨協医科大学大学院 [栃木県・私立]	看護学研究科看護学専攻 [修士課程]	10	200,000	600,000				800,000	600,000	1,000,000	3,500,000		5,100,000		9,600,000	5,400,000	17.1%
埼玉医科大学大学院 [埼玉県・私立]	看護学研究科看護学専攻 [修士課程]	10	300,000	700,000		202,790		1,202,790	902,790	2,000,000	3,500,000				5,500,000	5,750,000	20.0%
新潟県立看護大学大学院 [新潟県・公立]	看護学研究科看護学専攻 [博士前期課程]	15															
		県内	282,000	535,800				817,800	535,800	282,000	535,800				817,800		100.0%
		県外	564,000	535,800				1,099,800	535,800	564,000	535,800				1,099,800		100.0%
新潟青陵大学大学院 [新潟県・私立]	看護学研究科看護学専攻 [修士課程]	6	150,000	700,000		300,000	12,550	1,162,550	1,000,000	300,000	1,100,000	250,000	300,000	32,700	1,982,700	827,400	63.6%
中部大学大学院 [愛知県・私立]	生命健康科学研究科看護学専攻 [修士課程]	6	100,000	550,000		301,750		951,750	851,750	280,000	960,000	150,000	280,000	85,300	1,755,300	1,560,000	57.3%
藤田医科大学大学院 [愛知県・私立]	保健学研究科保健学専攻 看護学領域 [修士課程]	50	150,000	750,000				900,000	750,000	1,500,000	5,096,000				6,596,000	4,786,000	14.7%
長野県看護大学大学院 [長野県・公立]	看護学研究科看護学専攻 [修士課程]	16	282,000	535,800				817,800	535,800	282,000	535,800				817,800	535,800	100.0%
佐久大学大学院 [長野県・私立]	看護学研究科看護学専攻 [修士課程]	10	230,000	900,000	200,000			1,330,000	1,100,000	230,000	900,000	100,000	500,000		1,730,000	1,500,000	100.0%

長野保健医療大学大学院

**保健学研究科保健学専攻（修士課程）（仮称）の
設置及び修了生の採用意向等に関する
アンケート調査報告
（施設管理者）**

令和2（2020）年2月

長野保健医療大学 地域保健医療研究センター

長野保健医療大学大学院
保健学研究科保健学専攻（修士課程）（仮称）の
設置及び修了生の採用意向等に関するアンケート調査報告

1 調査の概要

(1) 調査の目的

令和3（2021）年4月に長野保健医療大学が設置を構想している長野保健医療大学大学院 保健学研究科保健学専攻（修士課程）（仮称）（以下「構想大学院」という。）について、医療機関等に対して大学院設置と修了生の採用意向等を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象施設

県内の病院等の施設管理者

ア 病院：長野県内に所在する60病院

〔抽出条件〕

- ・北信地方、東信地方において一般病床が100床以上の病院 22病院
- ・上記以外でも、理学療法士又は作業療法士が10人以上の病院 10病院
- ・上記以外でも看護職が50人以上の病院 1病院
- ・中信地域と南信地域を含め、本学卒業生（前身の専門学校を含む。）
が就職した病院 27病院

イ 介護老人保健施設

〔抽出条件〕

- ・本学卒業生（前身の専門学校を含む。）が就職した26の介護老人保健施設

合計 86施設

(3) 調査方法

上記(2)で抽出した病院、介護老人保健施設の施設管理者に対して大学院設置構想の概要及びアンケート用紙を送付し、当該施設の管理者又は総務部門の者に回答を依頼した。回答用紙は、専用の返信用封筒により、長野保健医療大学地域保健医療研究センターあてに回答者から直接返送を依頼した。

※送付した「大学院設置構想の概要」には、「上記の内容は設置を構想中であり、今後変更することがあります。」と明記した。

(4) 調査実施期間

令和元（2019）年11月～12月

(5) 回収率等

調査対象の 86 施設に対して回答があったのは 39 施設 (45.3%) であった。北信地方の回収率が最も多く 60.1% 中信地方が 41.2%、東信地方が 38.9%、南信地方が 27.8% という結果であった。

表 1 地方別調査対象施設数

区分	調査対象 病院数	調査対象 介護老人 保健施設数	調査対象計	回答数	回収率
北信地方	22	11	33	20	60.1%
東信地方	14	4	18	7	38.9%
中信地方	10	7	17	7	41.2%
南信地方	14	4	18	5	27.8%
計	60	26	86	39	45.3%

回答件数：

長野県内の病院等 29 件 (有効回答)
介護老人保健施設 10 件 (有効回答) 合計 39 件

回収率： (有効回収率)

※病院以外のその他施設 (障害児入所・通所施設) から 1 件回答があったが、集計では病院に含めることとした。

2 調査結果

(1) 回答があった施設の概要

ア 業種別所在地別回答件数

長野地域と中野・飯山地域を合わせた北信地方では 14 病院、介護老人保健施設 6、上田・小県地域と佐久地域を合わせた東信地方では 7 病院、中信地方では 5 病院、介護老人保健施設 2、南信地方では 3 病院、介護老人保健施設 2 の合計 39 施設から回答があった。(表 2)

表 2 地方別業種別回答数

所在地	病 院	介護老人保健施設	計
北信地方	14	6	20
東信地方	7	0	7
中信地方	5	2	7
南信地方	3	2	5
計	29	10	39

イ 業種別常勤の専門職種数規模別回答施設数

回答があった病院について、看護師等が 200 人以上の病院が半数であった。また、理学療法士・作業療法士の数がそれぞれ 10 人以上で 25 病院であり、比較的規模が大きい病院から回答を得られた。(表 3)

介護老人保健施設は、理学療法士、作業療法士とも 10 人未満となっている。

表 3 業種別常勤の専門職種数規模別回答施設数

業種 専門職種	看護師等			理学療法士		作業療法士	
	200人以上	100~200人	100人未満	10人以上	10人未満	10人以上	10人未満
病院	14	1	14	25	4	25	4
介護老人保健施設	0	0	10	0	10	0	10
計	14	1	24	25	14	25	14

ウ 業種別の大学院修了者が従事する施設数

大学院修了者が従事していると回答があった 12 病院について専門職種別にみると、看護師等が 200 人以上の病院で 6 施設、100 人未満の病院で 2 施設であった。また、従事する理学療法士が 10 人以上で 5 施設、10 人未満で 1 施設、作業療法士は 10 人以上で 2 施設あった。(表 4)

専門職種の従業者規模が大きな施設においては、大学院修了者が従事している状況が分かった。

表4 業種別の大学院修了者が従事する施設数

業種	看護師等			理学療法士		作業療法士	
	200人以上	100～200人	100人未満	10人以上	10人未満	10人以上	10人未満
病院	6	1	2	5	1	2	0
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0
計	6	1	2	5	1	2	0

(2) 構想大学院について

ア 大学院の設置について

構想大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益と思うかという質問に対して、「非常に有益だと思う」と「有益だと思う」という回答の合計は 92.3%に達しており、「まったく有益だと思わない」はなかった。(表 5)

大学院の設置が、地域の保健医療福祉の発展と向上に有益であるとの考えが大部分を占めていることが分かった。

表5 構想大学院の有益性

業種	非常に有益 だと思う A	有益だと思う B	あまり思わ ない	まったく有益 だとは思わ ない	計	A+B
病院	3	25	1	0	29	28
介護老人保健施設	3	5	2	0	10	8
計	6	30	3	0	39	36
構成比	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%	100.0%	92.3%

イ 施設に大学院に進学する適当な人材がいる場合の対応

大学院に進学する適当な人材がいる場合、「本人の意思に任せる」が 26 施設 (66.7%) であったが、「積極的に進学を勧めたい」と「勧めたい」の合計が 13 施設 (33.3%) であった。(表 6)

専門職種（看護師等、理学療法士、作業療法士）の従業者規模別にみると、200 人以上の病院で「積極的に進学を勧めたい」という回答があった。

病院では専門職種の従業者規模が小さくても「進学を勧めたい」という回答があった。介護老人保健施設では、専門職種の合計規模が 20 人以上で「進学を進めたい」という回答があった。

病院では、専門職種の従業者規模が大きいほど大学院修士課程への進学に関しての積極的な取り組み姿勢がうかがえる。介護老人保健施設では従業者規模が大きい施設で進学を勧めていることが分かった。

専門職の従業者規模が大きいほど、多くの職種との連携の必要性が増すこと、科学的根拠に基づいた実践が求められること、従事者数が多いゆえに組織を動かす重要性が増すことなどにより、専門職により高度な知識と専門性を求めているものと考えられる。

表6 専門職の従業者規模別大学院進学勧奨意向

業種	専門職種 人数合計規模	積極的に勧め めたい A	勧めたい B	本人の意思 に任せる	計	A+B
病院	400人以上	2	1	4	7	3
	200～400人	1	1	6	8	2
	100～200人	0	2	2	4	2
	100人未満	0	4	6	10	4
	計	3	8	18	29	11
構成比		10.3%	27.6%	62.1%	100.0%	37.9%
介護老人保 健施設	40人以上	0	1	0	1	1
	20～40人	0	1	1	2	1
	10～20人	0	0	5	5	0
	10人未満	0	0	2	2	0
	計	0	2	8	10	2
構成比		0.0%	20.0%	80.0%	100.0%	20.0%
計		3	10	26	39	13
構成比		7.7%	25.6%	66.7%	100.0%	33.3%

ウ 構想大学院における「長期履修制度」について

構想大学院における「長期履修制度」について、「良いと思う」という回答が 26 施設 (66.7%) であった。(表 7)

大学院に進学する適当な人材がいる場合についての対応と比較すると、構想大学院における「長期履修制度」について、「積極的に進学を勧めたい」と「勧めたい」と回答した 13 施設中の 11 施設が「良いと思う」と回答している。

「長期履修制度」は、大学院への「進学を勧める」と回答している施設が「良いと思う」と回答していることから、社会人が働きながら大学院で修学するため、構想大学院に導入する制度として良い評価を得たものとする。

表7 業種別進学勧奨意向別「長期履修制度」の評価

業種	進学勧奨	良いと思う	良いは思えない	どちらともいえない	分からない	計
病院	積極的に勧めたい	3	0	0	0	3
	勧めたい	7	0	1	0	8
	本人の意思に任せる	9	0	5	4	18
	計	19	0	6	4	29
介護老人保健施設	積極的に勧めたい	0	0	0	0	0
	勧めたい	1	0	0	1	2
	本人の意思に任せる	6	0	1	1	8
	計	7	0	1	2	10
計	積極的に勧めたい	3	0	0	0	3
	勧めたい	8	0	1	1	10
	本人の意思に任せる	15	0	6	5	26
	計	26	0	7	6	39
構成比		66.7%	0.0%	17.9%	15.4%	100.0%

エ 構想大学院で学ぶことを所属する専門職者が希望する場合の考え方

① 職務と進学に関する意向について

構想大学院で学ぶことを所属する専門職者が希望する場合、専門職者の職務と進学について、「既にある就学助成金などの制度を活用して、一定数に進学を勧めたい。」という回答が3施設、「休職制度などを活用して、一定数に進学を勧めたい。」という回答が2施設、「現在専門職に在職のまま、進学を勧めたい。」という回答が7施設であり、在職のまま進学させる意向のある施設が12施設であった。(表8)

特に、1施設からは助成制度、休職制度を活用して在職のまま進学させるとの前向きな回答を得ている。

大学院への進学について、積極的に進学を勧める施設を有する県内の病院等があることは、社会人学生の確保が確実であることを示している。

表8 業種別進学希望者への対応

進学対応	既にある就学助成金などの制度を活用して、一定数に進学を勧めたい。	休職制度などを利用して、一定数に進学を勧めたい。	現在専門職に在職のまま、進学を勧めたい。	進学は勧めるが、本人の意思に任せている。	進学を勧めることを考えていない。	今のところわからない。	無回答	計
病院	3	2	5	4	2	12	1	29
老健	0	0	2	4	2	2	0	10
計	3	2	7	8	4	14	1	39
構成比	7.7%	5.1%	17.9%	20.5%	10.3%	35.9%	2.6%	100.0%

②現在、大学院への進学を考えている専門職（保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士）の把握

現在、大学院への進学を考えている専門職（保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士）を把握している施設が、全体で14施設（35.9%）であり、そのうち現在希望者がいると回答した施設は7施設（17.9%）であった。（表9）

表9 業種別専門職の従業者規模別進学希望者の把握状況

業種	専門職種 人数合計規模	希望者を把握			把握して いない	計
		希望者が いる	希望者は いない	小計		
病院	400人以上	3	0	3	4	7
	200～400人	2	0	2	6	8
	100～200人	0	1	1	3	4
	100人未満	2	1	3	7	10
	計	7	2	9	20	29
構成比		24.1%	6.9%	31.0%	69.0%	100.0%
介護老人 保健施設	40人以上	0	0	0	1	1
	20～40人	0	1	1	1	2
	10～20人	0	2	2	3	5
	10人未満	0	2	2	0	2
	計	0	5	5	5	10
構成比		0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%
計		7	7	14	25	39
構成比		17.9%	17.9%	35.9%	64.1%	100.0%

「希望者がいる」場合の具体的な人数について、施設として大学院への進学を勧めたい者の数を回答したのは3施設で11人であった。また、本人の意向として大学院への進学を希望している者の数について回答があったのは、6施設で8人であった。

施設側としても大学院への進学を勧めたい専門職者や、実際に大学院進学を考えている専門職者を把握していたことから、本学がそれぞれの施設に対して構想大学院についての入学情報や学修の内容、修学環境等についての情報を提供することが重要であることが分かった。

オ 構想大学院が養成する人材（修了生）を採用する意向について

構想大学院の修了生に関する採用意向については、「採用したい」及び「採用を検討したい」という回答が 22 施設（56.4%）あり、病院等で 15 施設、介護老人保健施設で 7 施設であった。（表 10）

専門職種の従事者規模別でみると、病院等及び介護老人保健施設とも規模にかかわらず「採用したい」及び「採用を検討する」という状況である。

構想大学院の入学定員を 8 人に設定しているため、採用したい又は採用を検討したいとする施設が現時点で 22 施設あったことは、構想大学院の修了生を受け入れる意向のある施設が定員以上にあることを示している。

表10 業種別専門職の従業者規模別構想大学院修了者の採用意向

採用意向	専門職種 人数合計規模	採用したい	採用を検討 したい	どちらともい えない	わからない	計
病院	400人以上	2	3	1	1	7
	200～400人	1	3	3	1	8
	100～200人	0	3	1	0	4
	100人未満	1	2	5	2	10
	計	4	11	10	4	29
構成比		13.8%	37.9%	34.5%	13.8%	100.0%
介護老人 保健施設	40人以上	0	1	0	0	1
	20～40人	0	1	1	0	2
	10～20人	1	2	2	0	5
	10人未満	0	2	0	0	2
	計	1	6	3	0	10
構成比		10.0%	60.0%	30.0%	0.0%	100.0%
計		5	17	13	4	39
構成比		12.8%	43.6%	33.3%	10.3%	100.0%

「採用したい」と回答した 5 施設のうち、採用予定人数の記載があったのは 3 施設でその合計は 15 人であり、「採用を検討したい」と回答した 17 施設のうち、採用予定人数の記載があったのは 6 施設でその合計は 18 人であった。(表 11)

「採用したい」及び「採用を検討する」という回答に対して回答があった施設のうち、採用の前提となる保有資格・免許についてみると、看護師が最も多く 16 施設、理学療法士と作業療法士がそれぞれ 13 施設、保健師が 8 施設、助産師が 3 施設であった。

表11 構想大学院修了者採用意向別予定人員及び採用の前提となる保有資格・免許

区分	予定人数 記載施設数	予定人数の 合計値	採用の前提となる保有資格・免許(回答施設数)					
			保健師	助産師	看護師	理学療法士	作業療法士	その他
採用したい	3施設	15人	2	1	3	3	3	0
	2施設	未記入	1	1	1	1	1	0
計	5施設	15人	3	2	4	4	4	0
採用を検討 したい	6施設	18人	3	1	4	4	4	0
	11施設	未記入	2	0	8	5	5	0
計	17施設	18人	5	1	12	9	9	0
合計	22施設	33人	8	3	16	13	13	0

カ 意見・要望等

長野保健医療大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益と思うかという設問に対する回答別に意見・要望をまとめた。

【大学院設置の評価】有益だと思う

○病院

- ・大学院への期待が大きいが、へき地医療従事希望者の減少が課題
- ・採用に当たり修士課程修了者が有益かその都度判断
- ・在職中の進学は専門的技術研修が必要か要検討
- ・現状では身分保障は困難

○介護保険施設

- ・学卒と院卒の給料格付けが同格になる

【大学院設置の評価】あまり思わない

○病院

- ・大学院進学を強く推奨しているが、大学に指導力のある教員が乏しい

調 査 票

※ この資料は公表を前提としているため、依頼文の担当者名は伏字とした。

令和元年（2019年）11月29日

病院名
院長等 施設管理者 様

長野保健医療大学
学長 岩谷 力

大学院進学に関する意向調査のお願い

時下、皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より本学の教育につきま
してご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、長野保健医療大学では、地域での保健医療を一層充実させるために、新たな人材
育成のあり方として令和3年度(2021年度)開設を目途に大学院の設置を構想しています。
構想中の大学院の概要は、裏面のとおりです。大学院設置に向けて、進学意向及び採用意
向に関する調査を実施することといたしました。

つきましては、医療機関の施設管理者の皆様を対象としたアンケート調査にご協力いた
ただければ幸いです。ご多忙のところ恐れ入りますが、別紙アンケート調査要領により 12月
23日(月)までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

また、保健師・助産師・看護師・理学療法士・作業療法士を対象としたアンケート調査
も併せて実施したいため、関係する職員の皆様の回答についてもご配慮いただければ幸い
です。

アンケート調査の結果は大学院設置に関する以外に使用することはありません。ま
た、無記名で記入していただき、データも全体をまとめて統計的にのみ処理いたしますの
で、皆様の個人情報外部に漏れることは一切ありません。

問い合わせ先
〒381-2227 長野市川中島町今井原 11-1
長野保健医療大学
地域保健医療研究センター
センター長 □□ □□
□□ □□
電話：026-283-6111

(別紙)

アンケート調査要領

1 アンケート調査の種類

- ・施設管理者等のアンケート調査回答票・・・別紙1
(医療機関のみ)
- ・医療従事者のアンケート調査回答票・・・別紙2

2 医療従事者アンケートの送付数 _____部

3 医療従事者アンケートに関する対象者の選定 職種ごとの対象職員の選定は下記によりお願いします。

- (1) 理学療法士・・・概ね常勤の全従事者に配布をお願いします。
- (2) 作業療法士・・・ //
- (3) 保健師・助産師・看護師につきましては、恐れいりますが看護部長にお渡しいただき、下記により対象者を選定(常勤の従事者数の概ね1割程度)していただきますようお願いします。
 - ① 大学院進学を希望している者
 - ② 看護師長等組織の中核を担っている者
 - ③ 臨床経験が3年以上の者
 - ④ その他必要と認める者

4 返送・回答

別紙1及び別紙2のアンケート調査回答票は、同送しました返信用封筒により個々に投函していただきますよう回答者の皆様にお知らせをお願いします。

5 回答期限

令和元年12月23日(月)

6 その他

平成10年(1998年)に学校教育法が改正され、「大学卒業者と同等以上の学力があると認められた者」に大学院入学資格が認められるようになりました。これにより、専門学校や短期大学の卒業者も、看護職やリハビリテーション職等のキャリアや研究課題があれば大学院に進学できるようになりました。

大学院設置構想の概要

- 1 名 称 長野保健医療大学大学院
「保健学研究科保健学専攻修士課程（仮称）」
- 2 設置の理念、養成する人物像
本学の「徳風四海に洽（あまね）く」及び「仁心妙術」という教育理念に基づき、地域で活躍する高い倫理観と豊かな人間性を備え、卓越した専門性と確かな実践力を持つ保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士などの高度専門職業人として、専門分野において保健医療福祉の実践・発展に貢献できる人材、今後さらに重要性が増す保健医療福祉の研究者・教育者となる人材の養成を目指します。
- 3 開設時期 令和3年4月1日（予定）
- 4 開設場所 長野保健医療大学 （長野市川中島町今井原 11-1）
- 5 修業年限 2年
- 6 入学定員 入学定員 8名（収容定員 16名）
- 7 取得学位 修士（保健学）
- 8 学生納付金（例）入学金 20万円、授業料 90万円
- 9 教育研究の特色
 - ・ケア提供システム分野・・・制度、政策、組織管理を学修し、臨床現場におけるリーダーシップやマネジメントについて探求します。
 - ・人間発達ケア分野・・・妊娠、出産、小児期から高齢期までの人生の発達過程の中で迎える課題について、看護・リハビリテーションの観点から学修します。
 - ・健康コミュニティー分野・・・コミュニティーの特性や健康課題の理解、協働による支援に必要な理論と方法論を学修し、地域における健康支援の在り方を探求します。

※上記の内容は構想中であり、今後内容などを変更する場合があります。

【医療機関の施設管理者対象】 (別紙1)
長野保健医療大学 大学院設置に関するアンケート調査回答票

I. 貴施設についてお尋ねします。

問1 貴施設の業種についてお答えください。(ひとつに○)
 1 病院 2 介護保健施設 3 その他 ()

問2 貴施設の所在地についてお答えください。(ひとつに○)
 1 長野地域 (千曲市含む) 2 中野・飯山地域 3 上田・小県地域
 4 佐久地域 5 松本・大北地域 6 諏訪・伊那・飯田
 地域
 7 その他 (市町村)

問3 貴施設に従事する常勤の専門職種の数についてお答えください。

看護師・保健師・助産師	理学療法士	作業療法士
人	人	人

問4 貴施設に従事する専門職種の中で、大学院修了者の総計をお答えください。

看護師・保健師・助産師	理学療法士	作業療法士
人	人	人

II 長野保健医療大学が設置する大学院についてお尋ねします。

問1 長野保健医療大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思いますか。

- 1 非常に有益だと思う 2 有益だと思う
 3 あまり思わない 4 まったく有益だとは思わない

問2 大学院に進学する適当な人材がいる場合、本学に設置する大学院への進学を勧めたいと思いますか。

- 1 積極的に勧めたい 2 勧めたい 3 本人の意思に任せる

問3 長野保健医療大学が構想している大学院では、社会人の進学を想定して「長期履修制度※」を設ける計画です。この制度についてのお考えをお答えください。

- 1 良いと思う 2 良いは思えない 3 どちらともいえない 4 分からない

※ 長期履修制度：あらかじめ申請することにより、2年分の授業料で3年かけて大学院を修了できる制度

裏面もお願いします。

問4 長野保健医療大学が構想する大学院で学ぶことを貴施設の専門職者が希望する場合、施設管理者としてのお考えをお答えください。

(1) 職務と進学に関する意向について（該当する番号に○をしてください。）

- 1 既にある就学助成金などの制度を活用して、一定数に進学を勧めたい。
- 2 休職制度などを利用して、一定数に進学を勧めたい。
- 3 現在専門職に在職のまま、進学を勧めたい。
- 4 進学は勧めるが、本人の意思に任せている。
- 5 進学を勧めることを考えていない。
- 6 今のところわからない。

(2) 現在、大学院への進学を考えている医療職（保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士）はいますか。

1 いる 2 いない 3 把握していない

1の場合、よろしければ以下についてもお答えください。

◇現在、大学院への進学を勧めたい者の数 _____人

◇現在、大学院への進学を希望する者の数 _____人

問5 貴施設において、今後も長野保健医療大学大学院が養成する人材（修了生）を採用したいと思いませんか。

1 採用したい 2 採用を検討したい 3 どちらともいえない 4 わからない

1又は2の場合、よろしければ以下についてもお答えください。

◇採用したい人数 _____人

◇採用の前提となる保有資格・免許（あてはまるもの全てに○をしてください）

- 1.保健師 2.助産師 3.看護師 4.理学療法士 5.作業療法士
6.その他（ ）

問6

その他、大学院(修士課程)設置に関するご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

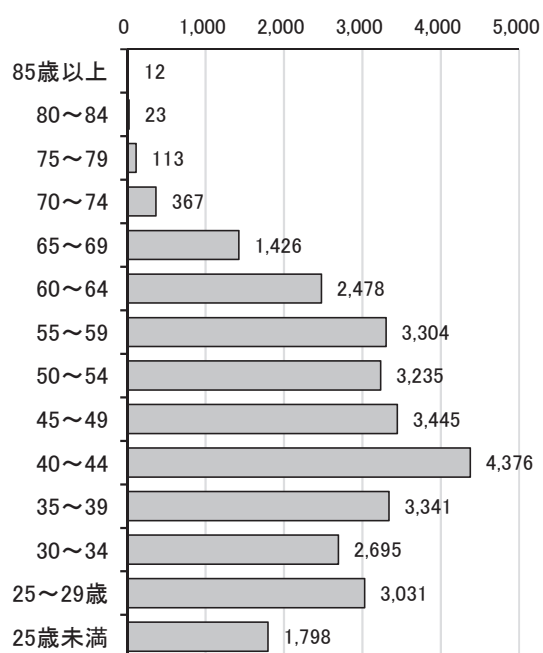
ご協力ありがとうございました。

年齢階層別看護職数

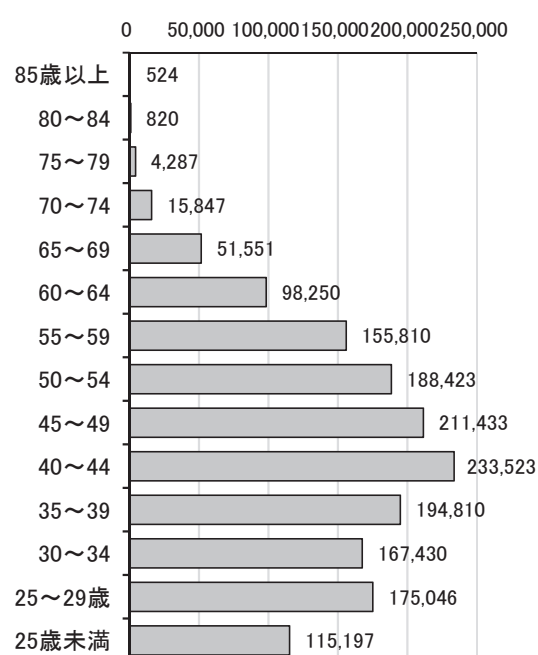
看護職	全 国		長 野 県	
	総 数	構成比	29,644	構成比
25歳未満	115,197	7.1%	1,798	6.1%
25～29歳	175,046	10.9%	3,031	10.2%
30～34	167,430	10.4%	2,695	9.1%
35～39	194,810	12.1%	3,341	11.3%
40～44	233,523	14.5%	4,376	14.8%
45～49	211,433	13.1%	3,445	11.6%
50～54	188,423	11.7%	3,235	10.9%
55～59	155,810	9.7%	3,304	11.1%
60～64	98,250	6.1%	2,478	8.4%
65～69	51,551	3.2%	1,426	4.8%
70～74	15,847	1.0%	367	1.2%
75～79	4,287	0.27%	113	0.38%
80～84	820	0.05%	23	0.08%
85歳以上	524	0.03%	12	0.04%
【再掲】30-49	807,196	50.04%	13,857	46.74%

出典：平成30年 衛生行政報告例

長野県看護職の年齢階層別人数

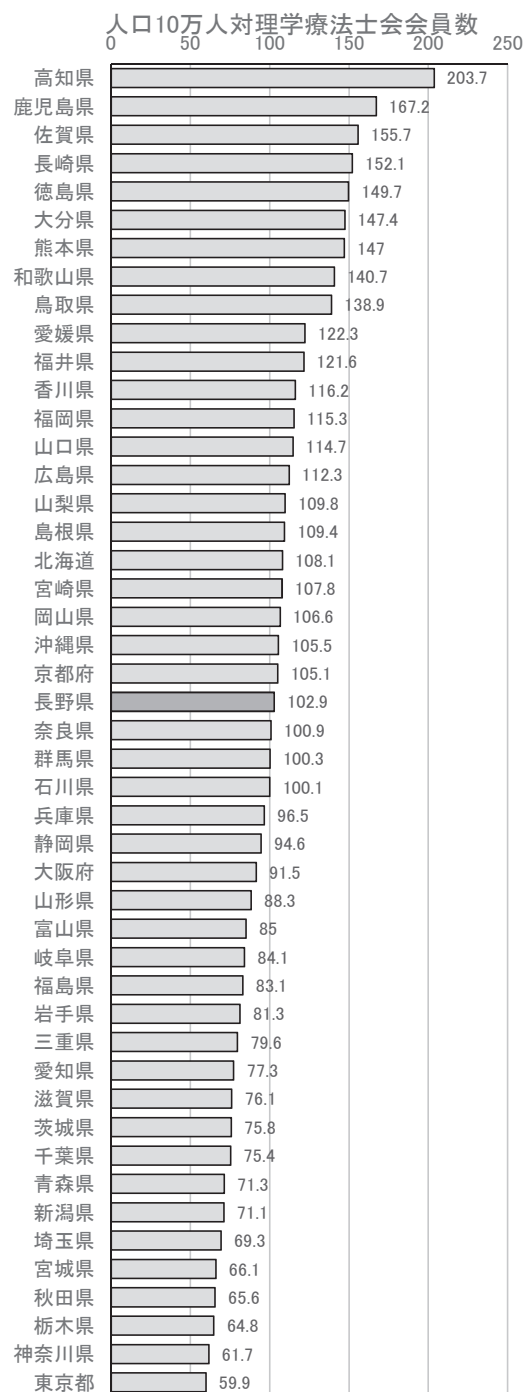


全国看護職の年齢階層別人数



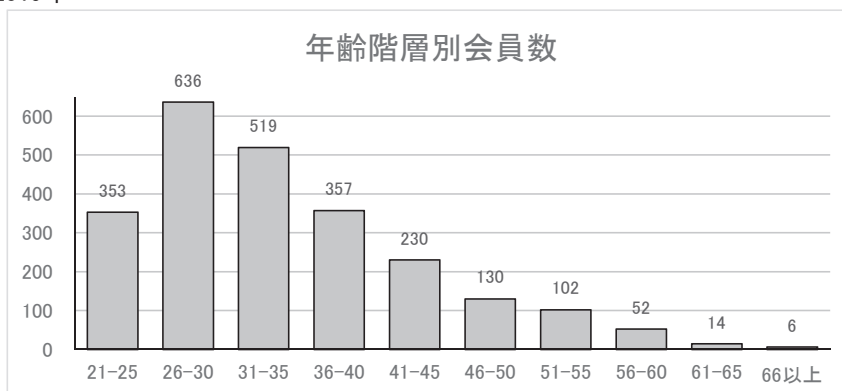
理学療法士会都道府県別会員数

士会名	正会員数 (人)	人口10万人 対会員数 (人)	順位	18年国勢調査 速報人口(千 人H30.10.1)
全国	113,721	89.9		126,443
高知県	1,438	203.7	1	706
鹿児島県	2,699	167.2	2	1,614
佐賀県	1,275	155.7	3	819
長崎県	2,040	152.1	4	1,341
徳島県	1,102	149.7	5	736
大分県	1,686	147.4	6	1,144
熊本県	2,583	147	7	1,757
和歌山県	1,316	140.7	8	935
鳥取県	778	138.9	9	560
愛媛県	1,653	122.3	10	1,352
福井県	941	121.6	11	774
香川県	1,118	116.2	12	962
福岡県	5,887	115.3	13	5,107
山口県	1,572	114.7	14	1,370
広島県	3,164	112.3	15	2,817
山梨県	897	109.8	16	817
島根県	744	109.4	17	680
北海道	5,716	108.1	18	5,286
宮崎県	1,165	107.8	19	1,081
岡山県	2,024	106.6	20	1,898
沖縄県	1,528	105.5	21	1,448
京都府	2,723	105.1	22	2,591
長野県	2,123	102.9	23	2,063
奈良県	1,351	100.9	24	1,339
群馬県	1,957	100.3	25	1,952
石川県	1,144	100.1	26	1,143
兵庫県	5,290	96.5	27	5,484
静岡県	3,463	94.6	28	3,659
大阪府	8,062	91.5	29	8,813
山形県	962	88.3	30	1,090
富山県	892	85	31	1,050
岐阜県	1,679	84.1	32	1,997
福島県	1,549	83.1	33	1,864
岩手県	1,009	81.3	34	1,241
三重県	1,426	79.6	35	1,791
愛知県	5,827	77.3	36	7,537
滋賀県	1,074	76.1	37	1,412
茨城県	2,180	75.8	38	2,877
千葉県	4,717	75.4	39	6,255
青森県	901	71.3	40	1,263
新潟県	1,598	71.1	41	2,246
埼玉県	5,082	69.3	42	7,330
宮城県	1,530	66.1	43	2,316
秋田県	644	65.6	44	981
栃木県	1,261	64.8	45	1,946
神奈川県	5,665	61.7	46	9,177
東京都	8,286	59.9	47	13,822



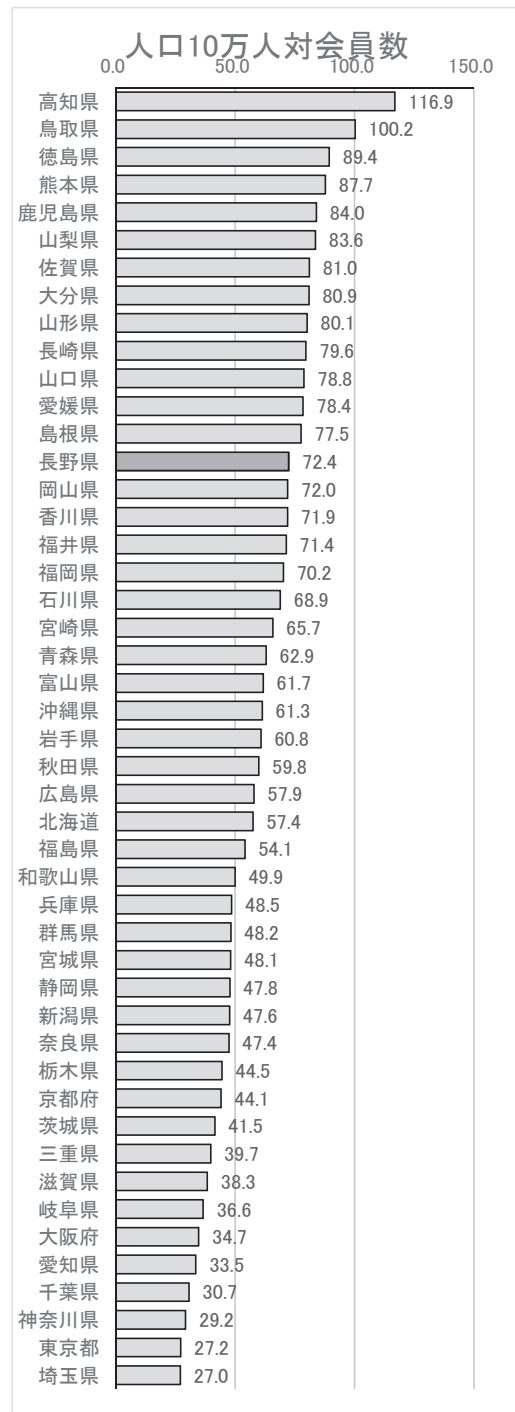
資料提供: 長野県理学療法士会 2019年

年代区分	会員数	構成比
21-25	353	14.7%
26-30	636	26.5%
31-35	519	21.6%
36-40	357	14.9%
41-45	230	9.6%
46-50	130	5.4%
51-55	102	4.3%
56-60	52	2.2%
61-65	14	0.6%
66以上	6	0.3%
計	2,399	100.0%
40歳以下	1,865	77.7%



作業療法士会都道府県別会員数

士会名	正会員数 (人)	人口10万人 対 会員数	順位	18年国勢調査 速報人口(千 人H30.10.1)
全国	60,413	47.8		126,443
高知県	825	116.9	1	706
鳥取県	561	100.2	2	560
徳島県	658	89.4	3	736
熊本県	1,541	87.7	4	1,757
鹿児島県	1,356	84.0	5	1,614
山梨県	683	83.6	6	817
佐賀県	663	81.0	7	819
大分県	925	80.9	8	1,144
山形県	873	80.1	9	1,090
長崎県	1,068	79.6	10	1,341
山口県	1,079	78.8	11	1,370
愛媛県	1,060	78.4	12	1,352
島根県	527	77.5	13	680
長野県	1,493	72.4	14	2,063
岡山県	1,366	72.0	15	1,898
香川県	692	71.9	16	962
福井県	553	71.4	17	774
福岡県	3,584	70.2	18	5,107
石川県	788	68.9	19	1,143
宮崎県	710	65.7	20	1,081
青森県	795	62.9	21	1,263
富山県	648	61.7	22	1,050
沖縄県	888	61.3	23	1,448
岩手県	755	60.8	24	1,241
秋田県	587	59.8	25	981
広島県	1,630	57.9	26	2,817
北海道	3,032	57.4	27	5,286
福島県	1,008	54.1	28	1,864
和歌山県	467	49.9	29	935
兵庫県	2,660	48.5	30	5,484
群馬県	940	48.2	31	1,952
宮城県	1,114	48.1	32	2,316
静岡県	1,750	47.8	33	3,659
新潟県	1,068	47.6	34	2,246
奈良県	635	47.4	35	1,339
栃木県	865	44.5	36	1,946
京都府	1,142	44.1	37	2,591
茨城県	1,195	41.5	38	2,877
三重県	711	39.7	39	1,791
滋賀県	541	38.3	40	1,412
岐阜県	730	36.6	41	1,997
大阪府	3,062	34.7	42	8,813
愛知県	2,524	33.5	43	7,537
千葉県	1,922	30.7	44	6,255
神奈川県	2,683	29.2	45	9,177
東京都	3,762	27.2	46	13,822
埼玉県	1,981	27.0	47	7,330



資料提供: 長野県作業療法士会 2019年

年代区分	会員数	構成比
21-25	254	18.6%
26-30	267	19.6%
31-35	308	22.6%
36-40	222	16.3%
41-45	139	10.2%
46-50	71	5.2%
51-55	58	4.3%
56-60	32	2.3%
61-65	9	0.7%
66以上	4	0.3%
計	1,364	100.0%
40歳以下	1,051	77.1%

